

令和3年12月1日

薬事・食品衛生審議会
食品衛生分科会長 村田 勝敬 殿

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会
農薬・動物用医薬品部会長 穂山 浩

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会
農薬・動物用医薬品部会報告について

令和3年10月18日付け厚生労働省発食1018第3号をもって諮問された、食品衛生法（昭和22年法律第233号）第13条第1項の規定に基づくフルアジナムに係る食品中の農薬の残留基準の設定について、当部会で審議を行った結果を別添のとおり取りまとめたので、これを報告する。

フルアジナム

今般の残留基準の検討については、農薬取締法に基づく適用拡大申請に伴う基準値設定依頼が農林水産省からなされたことに伴い、食品安全委員会において食品健康影響評価がなされたことを踏まえ、農薬・動物用医薬品部会において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

1. 概要

(1) 品目名：フルアジナム [Fluazinam (ISO)]

(2) 用途：殺菌剤、殺ダニ剤

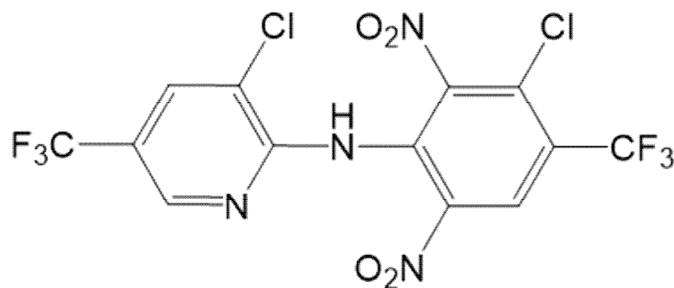
2,6-ジニトロアニリン系殺菌剤である。植物病原菌の呼吸系における酸化リン酸化の脱共役作用により、殺菌効果を発揮すると考えられている。本剤は抗菌活性の他に、ミカンハダニの様なハダニ、サビダニ類に対して殺ダニ効果を有する。

(3) 化学名及びCAS番号

3-Chloro-*N*-[3-chloro-2,6-dinitro-4-(trifluoromethyl)phenyl]-5-(trifluoromethyl)pyridin-2-amine (IUPAC)

2-Pyridinamine, 3-chloro-*N*-[3-chloro-2,6-dinitro-4-(trifluoromethyl)phenyl]-5-(trifluoromethyl)- (CAS : No. 79622-59-6)

(4) 構造式及び物性



分子式	$C_{13}H_4Cl_2F_6N_4O_4$
分子量	465.09
水溶解度	1.31×10^{-4} g/L (25°C, pH 5) 1.57×10^{-4} g/L (25°C, pH 7) 3.38×10^{-3} g/L (25°C, pH 9)
分配係数	$\log_{10}P_{ow} = 4.03$ (25°C)

2. 適用の範囲及び使用方法

本剤の適用の範囲及び使用法は以下のとおり。

作物名となっているものについては、今回農薬取締法（昭和23年法律第82号）に基づく適用拡大申請がなされたものを示している。

(1) 国内での使用方法

① 50.0%フルアジナム水和剤

作物名	適用	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルアジナムを含む農薬の総使用回数
かんきつ	そうか病 灰色かび病 ミカンサビダニ	1000～ 2000倍	200～700 L/10 a	収穫30日前 まで	1回	散布	2回以内 (散布は1回 以内、土壌 灌注は1回 以内)
	苗疫病 黒点病 ミカンハダニ	1000倍					
りんご	斑点落葉病 黒星病 輪紋病	1000～ 2000倍		収穫45日前 まで			
	すす点病 すす斑病 褐斑病	2000倍					
なし	黒斑病 黒星病 輪紋病	1000～ 2000倍		収穫30日前 まで			
ぶどう	晩腐病 べと病 枝膨病 灰色かび病	2000倍		開花直前 ～落弁期 ただし、収穫 60日前まで			
	黒とう病	250倍		休眠期			
もも	灰星病 黒星病 ホモフシ腐敗病	2000倍		収穫7日前 まで			
うめ	黒星病			発芽期まで ただし、収穫 60日前まで			
キウイ フルーツ	灰色かび病 果実軟腐病	1000～ 2000倍		収穫30日前 まで			
パイナップル	心腐病	1000倍	—	植付前		20分間 苗浸漬	1回

—：規定されていない項目

① 50.0%フルアジナム水和剤（つづき）

作物名	適用	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルアジナムを含む農薬の総使用回数
小麦	紅色雪腐病 雪腐大粒菌核病	1000倍	60～150 L/10 a	根雪前	2回以内		3回以内 (は種前は1回 以内、は種後は 2回以内)
	雪腐小粒菌核病	250倍	25 L/10 a				
ばれいしょ	疫病 菌核病	1000～ 2000倍	100～300 L/10 a	収穫14日前 まで	4回以内	散布	6回以内 (種いも浸漬は 1回以内、植付 前の土壌混和 及び植付時の 植溝散布は合 計1回以内、植 付後の散布は4 回以内)
	疫病	500倍	25 L/10 a				
		800倍	40 L/10 a				
	夏疫病	2000倍	100～300 L/10 a	植付前	1回	種いも 瞬間浸漬	
やまのいも	葉渋病	2000倍		収穫7日前 まで	4回以内		5回以内 (植付前の土壌 混和は1回以 内、植付後の 散布は4回 以内)
やまのいも (むかご)							
あずき	炭疽病 灰色かび病	1000～ 2000倍	100～300 L/10 a	収穫21日前 まで	3回以内	散布	3回以内
	菌核病 輪紋病	1000倍					
いんげん まめ	炭疽病 灰色かび病	1000～ 2000倍		収穫14日前 まで			
べにばな いんげん	菌核病						
ごぼう	灰色かび病						
ごぼう	黒条病	1000倍		収穫21日前 まで			
にんじん	黒葉枯病			収穫14日前 まで			
たまねぎ	灰色腐敗病 べと病	1000～ 2000倍		収穫7日前 まで	5回以内		7回以内 (全面土壌 混和は1回 以内、苗根部 浸漬は1回 以内、散布は 5回以内)
	灰色かび病	500倍	25 L/10 a				
	白色疫病	1000倍	100～300 L/10 a				
	乾腐病	50倍	—	定植直前	1回	5分間 苗根部 浸漬	

① 50.0%フルアジナム水和剤（つづき）

作物名	適用	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルアジナムを含む農薬の総使用回数
らっきょう	灰色かび病	2000倍	100～300 L/10 a	収穫14日前 まで	5回以内	散布	5回以内
	白色疫病	1000倍			6回以内		8回以内 (球根瞬間浸漬 は2回以内、散布 は6回以内)
食用ゆり	葉枯病	1000～ 2000倍	—	植付前	2回以内	球根瞬間 浸漬	は2回以内、散布 は6回以内)
	鱗茎さび症	50～200倍					
アスパラガス (露地栽培)	茎枯病 斑点病	1000～ 2000倍	100～300 L/10 a	収穫終了後 ただし、 秋期まで	5回以内	散布	5回以内
てんさい	根腐病	1000倍		3 L/m ²	収穫30日前 まで	4回以内	株元散布
	黒根病		100倍		移植前	苗床 土壌灌注	
茶	炭疽病 輪斑病 網もち病 新梢枯死症 (輪斑病菌に よる) 灰色かび病	2000倍	200～400 L/10 a	摘採14日前 まで	1回	散布	1回

作物名	適用	使用量		使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルアジナムを含む農薬の総使用回数
		薬量	希釈水量				
ばれいしょ	粉状そうか病 塊茎褐色輪紋病	600 g/10 a	100 L/10 a	植付前	1回	全面散布 土壌混和	6回以内 (種いも浸漬は1回 以内、植付前の土 壌混和及び植付時 の植溝散布は合計 1回以内、植付後の 散布は4回以内)
小麦	縞萎縮病			は種前			3回以内 (は種前は1回以 内、は種後は2回以 内)

② 39.5%フルアジナムフロアブル

作物名	適用	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルアジナムを含む農薬の総使用回数
りんご	斑点落葉病 黒星病 すす点病 すす斑病 褐斑病	2000～ 2500倍	200～700 L/10 a	収穫45日前 まで	1回	散布	2回以内 (散布は 1回以内、 土壌灌注は 1回以内)
	輪紋病 モリア病	2000倍					
	白紋羽病	500倍	50～100 L/樹			土壌灌注	
		1000倍	100～200 L/樹				
りんご (苗木)	白紋羽病 紫紋羽病	500倍	—	植付時	20分間 苗木浸漬	2回以内 (苗木浸漬は 1回以内、 土壌灌注は 1回以内)	
			25～50 L/樹	植付後 ただし、収 穫開始1年 前まで			土壌灌注
なし	黒斑病 黒星病	2000～ 2500倍	200～700 L/10 a	収穫30日前 まで	1回	散布	2回以内 (散布は 1回以内、 土壌灌注は 1回以内)
	輪紋病	2000倍					
	白紋羽病	500倍	50～100 L/樹			土壌灌注	
		1000倍	100～200 L/樹				
もも	灰星病 ホモシ腐敗病	2000倍	200～700 L/10 a	収穫7日前 まで	1回	散布	2回以内 (散布は 1回以内、 土壌灌注は 1回以内)
	白紋羽病	500倍	50～100 L/樹	収穫30日前 まで			
ネクタリン		白紋羽病	1000倍		100～200 L/樹	1回	
	500倍		50～100 L/樹				
うめ	黒星病 灰色かび病	2000倍	200～700 L/10 a	発芽期まで ただし、 収穫60日前 まで	1回	散布	2回以内 (散布は 1回以内、 土壌灌注は 1回以内)
	白紋羽病	500倍	50～100 L/樹	収穫後から 開花前まで ただし、収 穫60日前ま で			
小粒核果類 (うめを 除く)					1回		

② 39.5%フルアジナムフロアブル (つづき)

作物名	適用	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルアジナムを含む農薬の総使用回数
ぶどう	晩腐病 黒とう病 べと病 灰色かび病 枝膨病	2000倍	200～700 L/10 a	開花直前 ～落弁期 ただし、収 穫60日前 まで	1回	散布	2回以内 (散布は1回以 内、土壌灌注 は1回以内)
	白紋羽病	500倍	50～100 L/樹	収穫21日前 まで		土壌灌注	
		1000倍	100～200 L/樹			土壌灌注	
びわ	灰斑病	2000倍	200～700 L/10 a	収穫7日前 まで	散布		
	白紋羽病	500倍	50～100 L/樹	収穫後から 開花前まで	土壌灌注		
		1000倍	100～200 L/樹				
キウイ フルーツ		500倍	100 L/樹	収穫30日前 まで	1回	散布	
	灰色かび病 果実軟腐病	2000倍	200～700 L/10 a				
キウイ フルーツ (苗木)	白紋羽病	500倍	—	植付時		1時間 苗木 浸漬	
かんきつ	そうか病 灰色かび病	2000～ 2500倍	200～700 L/10 a	収穫30日前 まで	1回	散布	
	黒点病 ミカンダニ ミカンサビダニ チャノホリダニ	2000倍					
かき	落葉病 黒星落葉病 炭疽病 灰色かび病						収穫45日前 まで
おうとう いちじく	白紋羽病	500倍	50～100 L/樹	収穫30日前 まで		土壌灌注	
ブルーベリ ー				収穫21日 前まで			

② 39.5%フルアジナムフロアブル (つづき)

作物名	適用	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルアジナムを含む農薬の総使用回数
小麦	紅色雪腐病 雪腐大粒菌核病 なまぐさ黒穂病	1000倍	60～150 L/10 a	根雪前	2回 以内	散布	3回以内 (は種前は1回 以内、は種後 は2回以内)
	雪腐小粒菌核病	1000～ 2000倍					
	雪腐大粒菌核病 雪腐小粒菌核病 紅色雪腐病	250倍	25 L/10 a			無人航 空機 による 散布	
		8倍	0.8 L/10 a				
		16倍	1.6 L/10 a				
ばれいしょ	疫病	500倍	25 L/10 a	収穫7日前 まで	4回 以内	散布	6回以内 (種いも浸漬 は1回以内、植 付前の土壌混 和及び植付時 の植溝散布は 合計1回以内、 植付後の散布 は4回以内)
		1000～ 2000倍	100～300 L/10 a				
	菌核病	2000倍					
	夏疫病	2000倍		植付前	1回	種いも 瞬間 浸漬	
そうか病	100倍	—					
やまのいも	葉渋病	2000倍	100～300 L/10 a	収穫7日前 まで	4回 以内	散布	5回以内(植付 前の土壌混和 は1回以内、植 付後の散布は 4回以内)
あずき	炭疽病 灰色かび病	1000～ 2000倍		収穫21日前 まで	3回 以内		3回以内
	菌核病	1000倍					
いんげん まめ	炭疽病 灰色かび病	1000～ 2000倍		収穫7日前 まで			
	菌核病	1000倍					
べにばない んげん	灰色かび病			収穫14日前 まで			
ごぼう	黒条病		収穫21日前 まで				

② 39.5%フルアジナムフロアブル (つづき)

作物名	適用	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルアジナムを含む農薬の総使用回数
たまねぎ	乾腐病	50倍	—	定植直前	1回	5分間 苗根部 浸漬	7回以内 (全面土壌混和は1回以内、 苗根部浸漬は1回以内、 散布は5回以内)
	灰色腐敗病 べと病	1000～ 2000倍	100～300 L/10 a	収穫3日前 まで	5回 以内	散布	
	灰色かび病	250～500 倍	25 L/10 a				
	白色疫病	1000倍	100～300 L/10 a	収穫14日 前まで	6回 以内	球根瞬間浸漬 は2回以内、 散布は6回 以内)	
食用ゆり	葉枯病	50倍	—	植付前	2回 以内		
てんさい	褐斑病	1000倍	100～300 L/10 a	収穫30日 前まで	4回 以内	散布	5回以内 (は種前の土 壌混和及び苗 床灌注は合計 1回以内、 株元散布及び 散布は 合計4回以内)
	根腐病	1000～ 2000倍				株元 散布	
	黒根病	1000倍	3 L/m ²	移植前	1回	苗床土 壌灌注	
		100倍					
いちご	炭疽病	1000倍	50 mL/株	育苗期	1回	灌注	1回
アスパラ ガス (露地栽培)	茎枯病 斑点病	2000倍	100～300 L/10 a	収穫終了 後 ただし、秋 期まで	5回 以内	散布	5回以内
茶	炭疽病 輪斑病 新梢枯死症 (輪斑病菌によ る) もち病 網もち病 灰色かび病 褐色円星病 チャノホリダニ		200～400 L/10 a	摘採 14日前 まで	1回		1回

② 39.5%フルアジナムフロアブル (つづき)

作物名	適用病害虫名	使用量		使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルアジナムを含む農薬の総使用回数	
		薬量	希釈水量					
はくさい	根こぶ病	500 mL/10 a	100~200 L/10 a	定植前	1回	全面散布 土壌混和	2回以内 (土壌混和は 1回以内、 土壌散布は 1回以内)	
	尻腐病 軟腐病					全面土壌 散布		
レタス 非結球レタス	ビッグベイン病					全面散布 土壌混和		
	すそ枯病					全面土壌 散布		
	軟腐病							
キャベツ	苗立枯病 (リゾクトニア菌) 菌核病 根こぶ病					150~200 L/10 a		定植前
	苗立枯病 (リゾクトニア菌) 菌核病						全面 土壌散布	
	株腐病							
ブロッコリー カリフラワー	根こぶ病			100~200 L/10 a	は種前	1回	全面散布 土壌混和	1回
かぶ								
だいこん	亀裂褐変症 (リゾクトニア菌)							
ばれいしょ	粉状そうか病	400~ 600 mL/10 a	20 L/10 a	植付前	1回	全面散布 土壌混和	6回以内 (種いも浸漬 は1回以内、植 付前の土壌混 和及び植付時 の植溝散布は 合計1回以内、 植付後の散布 は4回以内)	
	粉状そうか病 そうか病	200 mL/10 a		植付時				植溝散布
かんしょ	基腐病	500 mL/10 a	200 L/10 a	植付前	1回	全面散布 土壌混和	1回	
やまのいも	褐色腐敗病		100~200 L/10 a				5回以内 (植付前の土 壌混和は1回 以内、植付後 の散布は4回 以内)	
小麦	縞萎縮病	600 mL/10 a	100 L/10 a	は種前	3回以内 (は種前は1回 以内、は種後 は2回以内)			
	なまぐさ黒穂病	500 mL/10 a						

③ 0.50%フルアジナム粉剤

作物名	適用	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルアジナムを含む農薬の総使用回数
ばれいしょ	そうか病 粉状そうか病	30～40 kg/10 a	植付前	1回	全面 土壌混和	6回以内 (種いも浸漬は 1回以内、植付前の 土壌混和及び 植付時の植溝 散布は合計1回 以内、植付後の 散布は4回以内)
かんしょ	基腐病	40 kg/10 a	定植前			1回
たまねぎ	黒腐菌核病					7回以内 (全面土壌混和は 1回以内、苗根部 浸漬は1回以内、 散布は5回以内)
キャベツ	根こぶ病	15～20 kg/10 a	は種又は 定植前	2回以内 (苗床では 1回以内、 本圃では1 回 以内)	作条 土壌混和	3回以内 (苗床では1回以内、 本圃での土壌 混和は1回以内、 土壌散布は1回 以内)
		30～40 kg/10 a				
	苗立枯病 (リゾクトニア菌) 菌核病	40 kg/10 a				
カリフラワー ブロッコリー なばな	根こぶ病	15～20 kg/10 a	は種又は 定植前		作条 土壌混和	
メキャベツ かぶ		30～40 kg/10 a				
こまつな	根こぶ病 立枯病 (リゾクトニア菌)	30 kg/10 a	は種前	1回	全面 土壌混和	1回
みずな						
非結球あぶら な科葉菜類 (ケール、こま つな、みずな、 のぎわな、なば な、みずかけな を除く)	根こぶ病	30～40 kg/10 a	は種又は 定植前			

③ 0.50%フルアジナム粉剤（つづき）

作物名	適用	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルアジナムを含む農薬の総使用回数							
のざわな	根こぶ病	30～40 kg/10 a	は種又は定植前	1回	全面 土壌混和	1回							
		20 kg/10 a			作条 土壌混和								
はくさい	黄化病	15～20 kg/10 a			は種又は定植前	1回	全面 土壌混和	2回以内（土壌混和は1回以内、土壌散布は1回以内）					
		30～40 kg/10 a											
レタス 非結球レタス	すそ枯病 ビッグベイン病	30 kg/10 a					は種又は定植前		1回	全面 土壌混和	2回以内（土壌混和は1回以内、土壌散布は1回以内）		
みずかけな	根こぶ病	40 kg/10 a										作条散布	1回
ねぎ	白絹病 小菌核腐敗病	15 kg/10 a	土寄せ時 ただし 収穫21日前 まで	2回以内								株元散布	2回以内
			にら										
てんさい	叢根病	育苗培土 1 kg 当たり 5～10 g	は種前	1回	土壌混和	5回以内 （は種前の土壌混和及び 苗床灌注は合計1回 以内、株元散布及び散 布は合計4回以内）							
らっかせい	白絹病	20 kg/10 a	収穫45日前 まで		株元散布	1回							
だいこん	亀裂褐変症 （リゾクトニア菌）	30～40 kg/10 a	は種前		全面 土壌混和								

（2）海外での使用方法

① 50%フルアジナムフロアブル（韓国）

作物名	適用	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
唐辛子 （パプリカ）	疫病 炭疽病 灰色かび病	2000 倍	収穫5日前 まで	4回以内	散布

② 40%フルアジナムフロアブル (米国)

作物名	適用	1回当たりの使用量	フルアジナムの総使用量	使用時期	使用方法	使用回数
ブッシュベリー	枝枯病 <i>Phomopsis vaccinii</i> 炭疽病 <i>Colletotrichum acutatum</i> <i>C. gloeosporioides</i> 灰色かび病 <i>Botrytis cinerea</i>	1.46 L/ha	3.91 lbs ai /acre (4382 g ai/ha)	収穫30日前まで	散布	6回以内

ai: active ingredient (有効成分)

lb: ポンド (1 lb = 0.45359237 kg)

acre: エーカー (1 acre = 約 4,047 m²)

3. 代謝試験

(1) 植物代謝試験

植物代謝試験が、いんげん、ぶどう、ばれいしょ、らっかせい及びりんごで実施されており、可食部で10%TRR^{注)}以上認められた代謝物は、代謝物C (ぶどう) 及び代謝物K (ぶどう) であった。

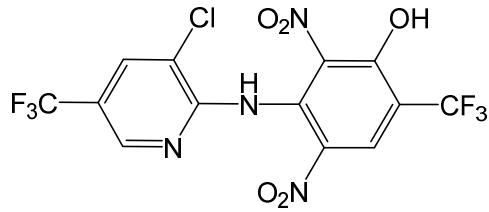
注) %TRR: 総放射性残留物 (TRR: Total Radioactive Residues) 濃度に対する比率 (%)

(2) 家畜代謝試験

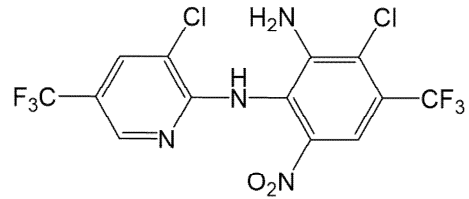
家畜代謝試験が、泌乳山羊で実施されており、可食部で10%TRR以上認められた代謝物は、代謝物D (筋肉、脂肪及び乳汁)、代謝物E (筋肉、脂肪、肝臓、腎臓及び乳汁)、代謝物Eの抱合体 (腎臓) 及び代謝物G (腎臓及び乳汁) であった。

【代謝物略称一覧】

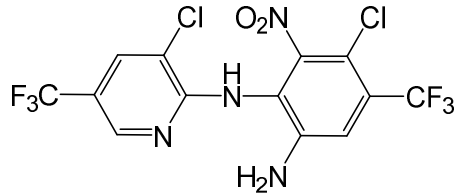
略称	化学名
B	5-(3-クロロ-5-トリフルオロメチル-2-ピリジルアミノ)- α, α, α -トリフルオロ-4,6-ジニトロ- <i>o</i> -クレゾール
C	2-クロロ-6-(3-クロロ-5-トリフルオロメチル-2-ピリジルアミノ)- α, α, α -トリフルオロ-5-ニトロ- <i>m</i> -トルイジン
D	4-クロロ-6-(3-クロロ-5-トリフルオロメチル-2-ピリジルアミノ)- α, α, α -トリフルオロ-5-ニトロ- <i>m</i> -トルイジン
E	4-クロロ-2-(3-クロロ-5-トリフルオロメチル-2-ピリジルアミノ)-5-トリフルオロメチル- <i>m</i> -フェニレンジアミン
F	5-クロロ-6-(3-クロロ- α, α, α -トリフルオロ-2,6-ジニトロ- <i>p</i> -トルイジノ)-ニコチン酸
G	<i>N</i> -[[2-(3-クロロ-5-トリフルオロメチル-2-ピリジルアミノ)-4-クロロ-3-ニトロ-5-トリフルオロメチル]フェニル]スルファミン酸
K	<i>S</i> -(4-アミノ-3-(3-クロロ-5-トリフルオロメチル-2-ピリジル)アミノ-2-ニトロ-6-トリフルオロメチルフェニル)-2-(<i>S</i>)- <i>O</i> -(β -D-グルコピラノシル)-3-チオ乳酸



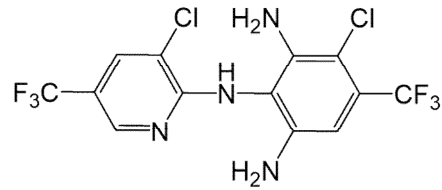
代謝物B



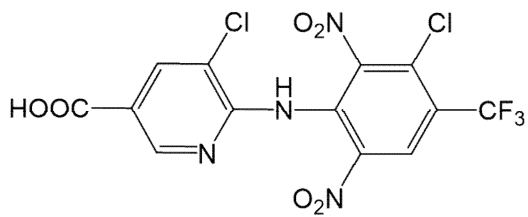
代謝物C



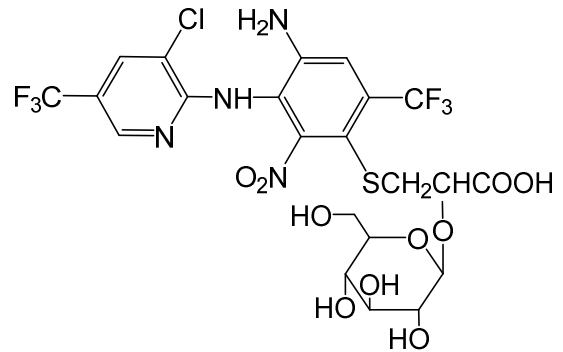
代謝物D



代謝物E



代謝物F



代謝物K

注) 残留試験の分析対象、残留の規制対象及び暴露評価対象となっている代謝物について構造式を明記した。

4. 作物残留試験

(1) 分析の概要

【国内】

① 分析対象物質

- ・フルアジナム
- ・代謝物B
- ・代謝物C
- ・代謝物F

② 分析法の概要

i) フルアジナム

試料からアセトン又はメタノールで抽出し、*n*-ヘキサンに転溶する。フロリジルカラムを用いて精製、又はアセトニトリル/ヘキサン分配し、シリカゲルカラムを用いて精製した後、電子捕獲型検出器付きガスクロマトグラフ (GC-ECD) 又は液体クロマトグラフ・タンデム型質量分析計 (LC-MS/MS) で定量する。

または、試料にリン酸を加えて磨砕後、アセトンで抽出する。C₁₈カラムを用いて精製した後、LC-MS/MS又は液体クロマトグラフ・質量分析計 (LC-MS) で定量する。

あるいは、試料からアセトンで抽出し、PSAカラム及びC₁₈カラムを用いて精製した後、GC-ECDで定量する。

ii) フルアジナム及び代謝物B

試料からメタノールで抽出し、HLBカラムを用いて精製した後、LC-MS/MSで定量する。なお、代謝物Bの分析値は、換算係数1.04を用いてフルアジナム濃度に換算した値として示した。

iii) フルアジナム、代謝物B及び代謝物C

試料からリン酸酸性下メタノールで抽出し、*n*-ヘキサンに転溶する。シリカゲルカラムを用いてフルアジナム並びに代謝物B及び代謝物Cに分画、精製した後、フルアジナムはGC-ECD、代謝物B及び代謝物CはLC-MSで定量する。

または、試料からリン酸酸性下メタノールで抽出し、*n*-ヘキサンに転溶する。フロリジルカラムを用いてフルアジナム及び代謝物C並びに代謝物Bの画分に分け、さらに、フルアジナム及び代謝物Cはシリカゲルカラムを用いて分画、精製した後、GC-ECDで、代謝物BはNH₂カラムを用いて精製した後、LC-MSで定量する。

なお、代謝物B及び代謝物Cの分析値は、それぞれ換算係数1.04及び1.06を用いてフルアジナム濃度に換算した値として示した。

iv) フルアジナム、代謝物B、代謝物C及び代謝物F

フルアジナム及び代謝物Cは、試料からメタノール・酢酸 (50 : 1) 混液で抽出し、0.2 mol/L塩酸を加え、*n*-ヘキサンに転溶する。フルアジナムを0.2 mol/L水酸化ナトリウム溶液で抽出し、塩酸を加えpH 1以下として*n*-ヘキサンに転溶する。代謝物Cは、ヘキサン層を0.2 mol/L水酸化ナトリウム溶液、0.2 mol/L塩酸及び水で洗浄する。それぞれフロリジルカラムを用いて精製した後、GC-ECDで定量する。

代謝物B及び代謝物Fは、試料からメタノール・酢酸 (50 : 1) 混液で抽出し、0.2 mol/L塩酸を加え、クロロホルムに転溶する。2%水酸化ナトリウム溶液で抽出した後、塩酸を加えpH 1以下としてクロロホルムに転溶し、ジアゾメタンでメチル化する。メチル化物を*n*-ヘキサンに転溶し、代謝物Fはアセトニトリル/ヘキサン分配した後、GC-ECDで定量する。

なお、代謝物B、代謝物C及び代謝物Fの分析値は、それぞれ換算係数1.04、1.06

及び1.05を用いてフルアジナム濃度に換算した値として示した。

定量限界：フルアジナム	0.002～0.03 mg/kg
代謝物B	0.005～0.05 mg/kg (フルアジナム換算濃度)
代謝物C	0.01～0.05 mg/kg (フルアジナム換算濃度)
代謝物F	0.01～0.02 mg/kg (フルアジナム換算濃度)

【海外】

① 分析対象物質

- ・フルアジナム
- ・代謝物K

② 分析法の概要

i) フルアジナム

試料からメタノール・酢酸 (50 : 1) 混液で抽出する。0.2 mol/L塩酸を加えて *n*-ヘキサンに転溶した後、0.5 mol/L水酸化ナトリウム溶液で抽出する。塩酸を加えて酸性とし、*n*-ヘキサンに転溶する。フロリジルカラムを用いて精製した後、GC-ECD又は高感度窒素・リン検出器付きガスクロマトグラフ (GC-NPD) で定量する。

定量限界：0.01 mg/kg

ii) 代謝物K

試料からアセトニトリル・水 (4 : 1) 混液で抽出する。ジクロロメタンで洗浄した後、6 mol/L塩酸でpHを1以下にして酢酸エチルに転溶する。C₁₈カラムを用いて精製した後、紫外分光光度型検出器付き高速液体クロマトグラフ (HPLC-UV) で定量する。なお、代謝物Kの分析値は、換算係数0.68を用いてフルアジナム濃度に換算した値として示した。

定量限界：0.02 mg/kg (フルアジナム換算濃度)

(2) 作物残留試験結果

国内で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙1-1、海外で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙1-2及び1-3を参照。

5. 畜産物における推定残留濃度

本剤については、飼料として給与した作物を通じ家畜の筋肉等への移行が想定されることから、飼料の最大給与割合等から算出した飼料中の残留農薬濃度と動物飼養試験の結果を用い、以下のとおり畜産物中の推定残留濃度を算出した。

(1) 分析の概要

① 分析対象物質

- ・フルアジナム
- ・代謝物D及びその抱合体
- ・代謝物E及びその抱合体

② 分析法の概要

- ・筋肉

i) フルアジナム

試料にケイソウ土及び酢酸を加えてアセトニトリル・水 (1 : 1) 混液で抽出し、多孔性ケイソウ土カラムを用いて精製した後、LC-MS/MSで定量する。

定量限界：フルアジナム 0.01 mg/kg

ii) 代謝物D及び代謝物E

試料にケイソウ土を加えてアセトニトリル・水 (1 : 1) 混液で抽出し、多孔性ケイソウ土カラムを用いて精製した後、LC-MS/MSで定量する。なお、代謝物D及び代謝物Eの分析値は、それぞれ換算係数1.07及び1.15を用いてフルアジナム濃度に換算した値として示した。

定量限界：代謝物D 0.01 mg/kg (フルアジナム換算濃度)
代謝物E 0.01 mg/kg (フルアジナム換算濃度)

- ・脂肪

i) フルアジナム、代謝物D及び代謝物E

試料にケイソウ土及び酢酸を加えてアセトニトリル・水 (1 : 1) 混液で抽出する。アセトニトリル/シクロヘキサン分配した後、LC-MS/MSで定量する。なお、代謝物D及び代謝物Eの分析値は、それぞれ換算係数1.07及び1.15を用いてフルアジナム濃度に換算した値として示した。

定量限界：フルアジナム 0.01 mg/kg
代謝物D 0.01 mg/kg (フルアジナム換算濃度)
代謝物E 0.01 mg/kg (フルアジナム換算濃度)

- ・肝臓及び腎臓

i) フルアジナム、代謝物D及び代謝物E

試料にケイソウ土及び酢酸を加えて、肝臓はアセトニトリル・水 (3 : 1) 混液

で、腎臓はアセトニトリル・水（1：1）混液で抽出し、ジクロロメタンに転溶した後、LC-MS/MSで定量する。なお、代謝物D及び代謝物Eの分析値は、それぞれ換算係数1.07及び1.15を用いてフルアジナム濃度に換算した値として示した。

定量限界：フルアジナム	0.01 mg/kg
代謝物D	0.01 mg/kg（フルアジナム換算濃度）
代謝物E	0.01 mg/kg（フルアジナム換算濃度）

ii) フルアジナム、代謝物D（抱合体を含む。）^{注)}及び代謝物E（抱合体を含む。）^{注)}

試料にケイソウ土を加えてアセトニトリル・水（1：1）混液で抽出する。アセトニトリルを留去後、塩酸を加えて37°Cで1時間加水分解した後、肝臓は*n*-ヘキサンに、腎臓は酢酸エチルに転溶し、LC-MS/MSで定量する。なお、代謝物D及び代謝物Eの分析値は、それぞれ換算係数1.07及び1.15を用いてフルアジナム濃度に換算した値として示した。

定量限界：フルアジナム	0.01 mg/kg
代謝物D（抱合体を含む。）	0.01 mg/kg（フルアジナム換算濃度）
代謝物E（抱合体を含む。）	0.01 mg/kg（フルアジナム換算濃度）

・乳

i) フルアジナム、代謝物D（抱合体を含む。）^{注)}及び代謝物E（抱合体を含む。）^{注)}

試料に塩酸を加えて37°Cで1時間加水分解する。メタノール及びケイソウ土を加えて混和し、ろ過する。*n*-ヘキサンに転溶した後、2分割して、フルアジナム及び代謝物D（抱合体を含む。）はLC-MS/MSで、代謝物E（抱合体を含む。）はガスクロマトグラフ・質量分析計（GC-MS）で定量する。なお、代謝物D及び代謝物Eの分析値は、それぞれ換算係数1.07及び1.15を用いてフルアジナム濃度に換算した値として示した。

定量限界：フルアジナム	0.01 mg/kg
代謝物D（抱合体を含む。）	0.01 mg/kg（フルアジナム換算濃度）
代謝物E（抱合体を含む。）	0.01 mg/kg（フルアジナム換算濃度）

注) 主として含まれる抱合体は、塩酸を加えて37°C1時間で加水分解される硫酸抱合体である。なお、フルアジナムはその構造から硫酸抱合体への代謝は想定されず、また、代謝試験においても硫酸抱合体の生成は認められない。

(2) 家畜残留試験（動物飼養試験）

① 乳牛を用いた残留試験

乳牛（ホルスタイン種、体重488～688 kg、3頭/時点）に対して、飼料中濃度として2.91、8.72及び28.84 ppmに相当する量のフルアジナムを含むカプセルを28日間にわたり強制経口投与し、筋肉及び脂肪に含まれるフルアジナム、代謝物D及び代謝物Eの濃度を、また、肝臓、腎臓及び乳については、フルアジナム、代謝物D及び代謝物Eの抱合体も含めた濃度をLC-MS/MS又はGC-MSで測定した。結果は表1を参照。

表1. 乳牛の試料中の残留濃度 (mg/kg)

		2.91 ppm 投与群	8.72 ppm 投与群	28.84 ppm 投与群
筋肉	フルアジナム	—	—	<0.01 (最大) <0.01 (平均)
	代謝物 D	—	—	0.0108 (最大) 0.0107 (平均)
	代謝物 E	—	—	0.0206 (最大) 0.0130 (平均)
	フルアジナム＋ 代謝物 D＋代謝物 E	—	—	0.0414 (最大) 0.0337 (平均)
脂肪	フルアジナム	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)
	代謝物 D	0.0181 (最大) 0.0120 (平均)	0.0354 (最大) 0.0194 (平均)	0.1540 (最大) 0.1009 (平均)
	代謝物 E	0.0252 (最大) 0.0145 (平均)	0.0497 (最大) 0.0251 (平均)	0.3306 (最大) 0.1774 (平均)
	フルアジナム＋ 代謝物 D＋代謝物 E	0.0533 (最大) 0.0365 (平均)	0.0951 (最大) 0.0544 (平均)	0.4946 (最大) 0.2883 (平均)
肝臓 ^{注)}	フルアジナム	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)
	代謝物 D*	<0.0107 (最大) <0.0107 (平均)	<0.0107 (最大) <0.0107 (平均)	0.0150 (最大) 0.0125 (平均)
	代謝物 E*	<0.0115 (最大) <0.0115 (平均)	0.0255 (最大) 0.0162 (平均)	0.0357 (最大) 0.0253 (平均)
	フルアジナム＋ 代謝物 D*＋代謝物 E*	<0.0322 (最大) <0.0322 (平均)	0.0462 (最大) 0.0369 (平均)	0.0606 (最大) 0.0478 (平均)
腎臓 ^{注)}	フルアジナム	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)
	代謝物 D*	<0.0107 (最大) <0.0107 (平均)	<0.0107 (最大) <0.0107 (平均)	<0.0107 (最大) <0.0107 (平均)
	代謝物 E*	<0.0115 (最大) <0.0115 (平均)	<0.0115 (最大) <0.0115 (平均)	<0.0115 (最大) <0.0115 (平均)
	フルアジナム＋ 代謝物 D*＋代謝物 E*	<0.0322 (最大) <0.0322 (平均)	<0.0322 (最大) <0.0322 (平均)	<0.0322 (最大) <0.0322 (平均)

表1. 乳牛の試料中の残留濃度 (mg/kg) (つづき)

		2.91 ppm 投与群	8.72 ppm 投与群	28.84 ppm 投与群
乳	フルアジナム	—	<0.01 (平均)	<0.01 (平均)
	代謝物 D*	—	<0.0107 (平均)	0.0108 (平均)
	代謝物 E*	—	<0.0115 (平均)	0.0158 (平均)
	フルアジナム+ 代謝物 D*+代謝物 E*	—	<0.0322 (平均)	0.0366 (平均)

— : 分析せず

定量限界 : 0.01 mg/kg

* : 抱合体を含む。

注) 肝臓及び腎臓については、加水分解及び非加水分解分析法の結果のうち残留濃度の高い値を採用した。その結果、代謝物Dは非加水分解処理の数値を示し、代謝物Eは加水分解処理の数値を示した。これらの組織については添加回収試験の回収率が低かったことから、分析値を回収率で補正した。

(3) 飼料中の残留農薬濃度

飼料及び飼料添加物の成分規格等に関する省令（昭和51年農林省令第35号）に定める飼料一般の成分規格等と飼料の最大給与割合等から、飼料の摂取によって家畜が暴露されうる飼料中の残留農薬濃度を算出した。

成分規格等で定められている基準値上限まで飼料中に農薬が残留している場合を仮定し、これに飼料の最大給与割合等を掛け合わせるにより飼料中の最大飼料由来負荷 (MDB) ^{注1)} を算出したところ、乳牛において1.0153 ppm、肉牛において0.1576 ppmと推定された。また、平均的飼料由来負荷 (STMR dietary burden 又はmean dietary burden) ^{注2)} は同じく、乳牛において1.0153 ppm、肉牛において0.1576 ppmと推定された。

注1) 最大飼料由来負荷 (Maximum Dietary Burden : MDB) : 飼料として用いられる全ての飼料品目に農薬が残留基準まで残留していると仮定した場合に、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる最大濃度。飼料中残留濃度として表示される。

注2) 平均的飼料由来負荷 (STMR dietary burden 又はmean dietary burden) : 飼料として用いられる全ての飼料品目に農薬が平均的に残留していると仮定した場合に（作物残留試験から得られた残留濃度の中央値を試算に用いる）、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる最大濃度。飼料中濃度として表示される。

(4) 推定残留濃度

牛について、MDBと家畜残留試験結果から、畜産物中の推定残留濃度（フルアジナム、代謝物D及び代謝物Eの合計）を算出した。結果は表2を参照。

表2. 畜産物中の推定残留濃度：牛（mg/kg）

	筋肉	脂肪	肝臓	腎臓	乳
乳牛	0.002 (0.001)	0.019 (0.013)	0.005 (0.004)	0.001 (0.001)	0.004 (0.004)
肉牛	0.000 (0.000)	0.003 (0.002)	0.001 (0.001)	0.000 (0.000)	

上段：最大残留濃度

下段括弧内：平均的な残留濃度

6. ADI 及び ARfD の評価

食品安全基本法（平成15年法律第48号）第24条第1項第1号の規定に基づき、食品安全委員会あて意見を求めたフルアジナムに係る食品健康影響評価において、以下のとおり評価されている。

(1) ADI

無毒性量：1 mg/kg 体重/day

（動物種） イヌ

（投与方法） カプセル経口

（試験の種類） 慢性毒性試験

（期間） 1年間

安全係数：100

ADI：0.01 mg/kg 体重/day

発がん性試験において、ラットで甲状腺腫瘍が、マウスで肝細胞腫瘍の増加が認められたが、腫瘍発生機序は遺伝毒性メカニズムとは考え難く、評価に当たり閾値を設定することは可能であると考えられた。

(2) ARfD

① 国民全体の集団

無毒性量：50 mg/kg 体重

（ARfD 設定根拠資料①） 急性神経毒性試験

（動物種） ラット

（投与方法） 強制経口

（ARfD 設定根拠資料②） 発生毒性試験

（動物種） ラット

（投与方法） 強制経口

（投与期間） 妊娠 6～19 日

安全係数：100

ARfD : 0.5 mg/kg 体重

② 妊婦又は妊娠している可能性のある女性

無毒性量 : 2 mg/kg 体重/day

(動物種) ウサギ

(投与方法) 強制経口

(試験の種類) 発生毒性試験

(投与期間) 妊娠 6~19 日

安全係数 : 100

ARfD : 0.02 mg/kg 体重

7. 諸外国における状況

JMPRにおける毒性評価はなされておらず、国際基準も設定されていない。

米国、カナダ、EU、豪州及びニュージーランドについて調査した結果、米国においてばれいしょ、りんご等に、カナダにおいてばれいしょ、にんじん等に、EUにおいてりんご、ぶどう等に、豪州においてばれいしょ、ぶどう等に、ニュージーランドにおいてたまねぎ、ぶどう等に基準値が設定されている。

8. 基準値案

(1) 残留の規制対象

農産物にあつては、フルアジナムとし、畜産物にあつては、筋肉及び脂肪については、フルアジナム、代謝物D及び代謝物Eとし、その他の組織及び乳については、フルアジナム、代謝物D（抱合体を含む。）及び代謝物E（抱合体を含む。）とする。

農産物の多くの作物残留試験において、代謝物B及び代謝物Cの分析が、また、一部の作物残留試験においては、代謝物F及び代謝物Kの分析が行われているが、代謝物B、代謝物C、代謝物F及び代謝物Kはフルアジナムと比較して十分に低い残留濃度であることから、残留の規制対象にはこれらの代謝物を含めず、フルアジナムのみとする。

畜産物においては、代謝試験及び残留試験の結果から親化合物の残留は見られなかった。筋肉及び脂肪については、代謝物D及び代謝物Eが主要な残留物であることから、フルアジナム、代謝物D及び代謝物Eを規制対象とする。また、その他の組織及び乳については、代謝物D（抱合体を含む。）及び代謝物E（抱合体を含む。）が主要な残留物であることから、フルアジナム、代謝物D（抱合体を含む。）及び代謝物E（抱合体を含む。）を規制対象とする。

(2) 基準値案

別紙2のとおりである。

(3) 暴露評価対象

農産物にあつては、フルアジナムとし、畜産物にあつては、筋肉及び脂肪については、フルアジナム、代謝物D及び代謝物Eとし、その他の組織及び乳については、フルアジナム、代謝物D（抱合体を含む。）及び代謝物E（抱合体を含む。）とする。

農産物については、植物代謝試験において代謝物C及び代謝物Kが10%TRR以上認められた。代謝物Cは残留試験において親化合物に比べて残留濃度が低いこと、また、代謝物Kは食品安全委員会の評価によると急性毒性は弱く、復帰突然変異試験の結果は陰性であることから、暴露評価対象には含めないこととする。

畜産物においては、代謝試験及び残留試験の結果から、筋肉及び脂肪については、代謝物D及び代謝物Eが主要な残留物であることから、フルアジナム、代謝物D及び代謝物Eを暴露評価対象とする。また、その他の組織及び乳については、代謝物D（抱合体を含む。）及び代謝物E（抱合体を含む。）が主要な残留物であることから、フルアジナム、代謝物D（抱合体を含む。）及び代謝物E（抱合体を含む。）を暴露評価対象とする。

なお、食品安全委員会は、食品健康影響評価において、農産物及び畜産物中の暴露評価対象物質をフルアジナム（親化合物のみ）としている。

（4）暴露評価

① 長期暴露評価

1日当たり摂取する農薬等の量の ADI に対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙3参照。

	EDI/ADI (%) ^{注)}
国民全体（1歳以上）	13.9
幼小児（1～6歳）	38.7
妊婦	13.5
高齢者（65歳以上）	15.7

注) 各食品の平均摂取量は、平成17～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査の特別集計業務報告書による。

EDI 試算法：作物残留試験成績の平均値×各食品の平均摂取量

② 短期暴露評価

各食品の短期推定摂取量（ESTI）を算出したところ、国民全体（1歳以上）、幼小児（1～6歳）及び妊婦又は妊娠している可能性のある女性（14～50歳）のそれぞれにおける摂取量は急性参照用量（ARfD）を超えていない^{注)}。詳細な暴露評価は別紙4-1、4-2及び4-3参照。

注) 基準値案、作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用い、平成17～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査及び平成22年度の厚生労働科学研究の結果に基づき

ESTIを算出した。

フルアジナムの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件			各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注1)	
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	【フルアジナム/代謝物B/代謝物C/代謝物F】
小麦 (種子, 玄麦)	2	50.0%水和剤	1000倍 散布 100 L/10 a	2	58 64	圃場A: <0.01/<0.01/<0.01/- 圃場B: <0.01/<0.01/<0.01/-
	2	39.5%フロアブル	167倍 100 L/10 a は種前土壌混和 + 250倍 25 L/10 a 散布	1+2	251, 258, 265 208, 215, 222	圃場A: *<0.01/*<0.02/-/- (*3回, 251日) 圃場B: *<0.01/*<0.02/-/- (*3回, 208日)
いんげんまめ (乾燥子実)	2	50.0%水和剤	1000倍 散布 100 L/10 a	3	14, 21	圃場A: <0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場B: <0.01/<0.01/<0.01/<0.01
	2	39.5%フロアブル	1000倍 散布 200, 180 L/10 a	3	7, 14, 21	圃場A: <0.01/-/-/- 圃場B: 0.01/-/-/-
べにばないんげん (乾燥子実)	2	50.0%水和剤	1000倍 散布 200 L/10 a	3	13, 20, 28 14, 20, 28	圃場A: *<0.01/*<0.02/-/- (*3回, 13日) 圃場B: <0.01/-/-/-
	3	39.5%フロアブル	1000倍 散布 200 L/10 a	3	14, 21, 28	圃場A: <0.01/-/-/- 圃場B: <0.01/-/-/- 圃場C: <0.01/-/-/-
さやいんげん (さや)	2	50.0%水和剤	1000倍 散布 100 L/10 a	3	14, 21	圃場A: <0.01/<0.01/<0.01/<0.01 圃場B: <0.01/<0.01/<0.01/<0.01
あずき (乾燥子実)	2	50.0%水和剤	1000倍 散布 100 L/10 a	3	14, 21	圃場A: 0.01/<0.01/<0.01/- 圃場B: 0.02/<0.01/<0.01/-
	2	39.5%フロアブル	1000倍 散布 200, 198 L/10 a	3	14, 21, 28 14, 21, 27	圃場A: *0.02/<0.02/-/- (*3回, 28日) 圃場B: <0.01/<0.02/-/-
らっかせい (乾燥子実)	2	0.50%粉剤	株元散布 20 kg/10 a	1	41, 63, 75 45, 61, 75	圃場A: *<0.01/*<0.02/-/- (*1回, 41日) 圃場B: <0.01/-/-/-
ばれいしょ (塊茎)	2	50.0%水和剤	1000倍 散布 300 L/10 a	4	14, 21	圃場A: <0.01/<0.01/<0.01/- 圃場B: <0.01/<0.01/<0.01/-
	2	50.0%水和剤	50倍 種芋瞬間浸漬	1	84 92	圃場A: <0.01/<0.01/<0.01/- (#) 圃場B: <0.01/<0.01/<0.01/- (#)
	2	50.0%水和剤	333倍 全面土壌混和 200 L/10 a	1	86 126	圃場A: <0.01/-/-/- (#) 圃場B: <0.01/-/-/- (#)
	2	0.50%粉剤	全面土壌混和 40 kg/10 a	1	78 97	圃場A: <0.01/<0.01/<0.01/- 圃場B: <0.01/<0.01/<0.01/-
	2	50.0%水和剤	100倍 種芋浸漬 + 166倍 100 L/10 a 種前全面散布 後土壌混和 + 250倍 25 L/10 a 散布	1+1+4	14, 21, 28	圃場A: <0.01/<0.02/<0.02/- (#) 圃場B: <0.01/<0.02/<0.02/- (#)
	2	39.5%フロアブル	100倍 種芋浸漬 + 167倍 100 L/10 a 土壌混和 + 250倍 25 L/10 a 散布	1+1+4	7, 14, 21	圃場A: <0.01/<0.02/-/- (#) 圃場B: <0.01/<0.02/-/- (#)
	2	39.5%フロアブル	100倍 種芋浸漬 + 166.7倍 100 L/10 a 土壌混和 + 1000倍 200, 198 L/10 a 散布	1+1+4	7, 14, 21	圃場A: *0.02/<0.02/-/- (*6回, 21日) 圃場B: <0.01/<0.02/-/-
	2	39.5%フロアブル	100倍 種芋浸漬 + 100倍 20 L/10 a 植溝散布 + 1000倍 178, 167 L/10 a 散布	1+1+4	7, 14, 21	圃場A: <0.01/<0.02/-/- 圃場B: <0.01/<0.02/-/-
	2	39.5%フロアブル	100倍 種芋浸漬 + 100倍 20 L/10 a 植溝散布 + 500倍 26, 25.6 L/10 a 散布	1+1+4	7, 14, 21	圃場A: <0.01/<0.02/-/- 圃場B: <0.01/<0.02/-/-
	2	39.5%フロアブル	100倍 植溝散布 20 L/10 a	1	77, 84, 91 90, 97, 104	圃場A: *<0.01/*<0.02/-/- (*1回, 77日) 圃場B: *<0.01/*<0.02/-/- (*1回, 90日)
かんしょ (塊根)	6	39.5%フロアブル	500 mL/10 a 全面散布土壌混和	1	141 138 126 81 125 127	圃場A: 0.02/<0.02/-/- 圃場B: <0.01/<0.02/-/- 圃場C: <0.01/<0.02/-/- 圃場D: <0.01/<0.02/-/- 圃場E: <0.01/<0.02/-/- 圃場F: <0.01/<0.02/-/-
やまのいも (塊根・根茎)	2	50.0%水和剤	2000倍 散布 300 L/10 a	4	14	圃場A: <0.01/<0.01/<0.01/- 圃場B: <0.01/<0.01/<0.01/-
	2	39.5%フロアブル	2000倍 散布 200 L/10 a	4	7, 14, 21	圃場A: <0.01/<0.02/-/- 圃場B: <0.01/<0.02/-/-
	3	39.5%フロアブル	200倍 100 L/10 a 全面散布土壌混和 + 2000倍 189, 180 L/10a 散布	1+4	7, 14, 21	圃場A: <0.01/<0.02/-/- 圃場B: <0.01/<0.02/-/- 圃場C: <0.01/<0.02/-/-
てんさい (根部)	2	0.50%粉剤	育苗床土壌混和 10 g/床土1 kg	1	185 192	圃場A: <0.01/<0.01/<0.01/- 圃場B: <0.01/<0.01/<0.01/-
	2	0.50%粉剤 + 50.0%水和剤	10 g/床土1 kg 育苗床土壌混和 + 1000倍 200 L/10 a 株元散布	1+4	30	圃場A: 0.05/-/-/- 圃場B: 0.12/-/-/-
	2	50.0%水和剤	1000倍 株元散布 200 L/10 a	4	7, 14, 28, 42	圃場A: *0.15/-/-/- (*4回, 28日) 圃場B: *0.14/-/-/- (*4回, 28日)
	2	50.0%水和剤	100倍 3 L/m ² 苗床灌注 + 1000倍 200 L/10 a 株元散布	1+4	21, 30, 45	圃場A: 0.06/<0.01/<0.01/- 圃場B: 0.10/<0.01/<0.01/-
	2	39.5%フロアブル	100倍 1 L/冊 苗床灌注 + 1000倍 200 L/10 a 株元散布	1+4	21, 28, 35	圃場A: *0.12/*<0.02/-/- (*5回, 28日) (#) 圃場B: *0.09/*<0.02/-/- (*5回, 28日) (#)
	3	39.5%フロアブル	100倍 3 L/m ² 苗床土壌灌注 + 1000倍 200, 204 L/10 a 散布	1+4	14, 21, 28, 35	圃場A: *0.02/<0.02/-/- (*5回, 35日) 圃場B: *0.11/<0.02/-/- (*5回, 35日) 圃場C: 0.12/<0.02/-/-
てんさい (葉部)	2	0.50%粉剤	育苗床土壌混和 10 g/床土1 kg	1	185 192	圃場A: <0.01/<0.01/<0.01/- 圃場B: <0.01/<0.01/<0.01/-

フルアジナムの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件			各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注1)	
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	【フルアジナム/代謝物B/代謝物C/代謝物F】
だいこん (根部)	2	0.50%粉剤	全面土壌混和 40 kg/10 a	1	53, 60, 67	圃場A : * < 0.01 / * < 0.02 / - / - (* 1回, 53日) 圃場B : * < 0.01 / * < 0.02 / - / - (* 1回, 54日)
	2	39.5%水和剤	200倍 全面散布土壌混和 100 L/10 a	1	54, 61, 68 64, 71, 78 52, 59, 66	圃場A : * < 0.005 / - / - / - (* 1回, 64日) 圃場B : * < 0.005 / - / - / - (* 1回, 52日)
だいこん (葉部)	2	0.50%粉剤	全面土壌混和 40 kg/10 a	1	53, 60, 67	圃場A : * < 0.01 / * < 0.02 / - / - (* 1回, 53日) 圃場B : * < 0.01 / * < 0.02 / - / - (* 1回, 54日)
	2	39.5%水和剤	200倍 全面散布土壌混和 100 L/10 a	1	64, 71, 78 52, 59, 66	圃場A : * < 0.01 / - / - / - (* 1回, 64日) 圃場B : * < 0.01 / - / - / - (* 1回, 52日)
だいこん (つまみ菜)	2	0.50%粉剤	全面土壌混和 40 kg/10 a	1	7 8	圃場A : < 0.01 / * < 0.02 / - / - 圃場B : 0.02 / * < 0.02 / - / -
	1	39.5%水和剤	200倍 全面散布土壌混和 100 L/10 a	1	16	圃場A : < 0.01 / - / - / -
だいこん (間引き菜)	2	0.50%粉剤	全面土壌混和 40 kg/10 a	1	14	圃場A : < 0.01 / * < 0.02 / - / - 圃場B : 0.02 / * < 0.02 / - / -
	1	39.5%水和剤	200倍 全面散布土壌混和 100 L/10 a	1	25	圃場A : < 0.01 / - / - / -
かぶ (根部)	2	0.50%粉剤	全面土壌混和 40 kg/10 a	1	46 75	圃場A : < 0.01 / * < 0.01 / * < 0.01 / - 圃場B : < 0.01 / * < 0.01 / * < 0.01 / -
	2	39.5%フロアブル	200倍 全面散布後土壌混和 100 L/10 a	1	49, 56, 63 47, 54, 61	圃場A : * < 0.01 / * < 0.02 / - / - (* 1回, 49日) 圃場B : * < 0.01 / * < 0.02 / - / - (* 1回, 47日)
かぶ (葉部)	2	0.50%粉剤	全面土壌混和 40 kg/10 a	1	46 75	圃場A : < 0.01 / * < 0.01 / * < 0.01 / - 圃場B : < 0.01 / * < 0.01 / * < 0.01 / -
	2	39.5%フロアブル	200倍 全面散布後土壌混和 100 L/10 a	1	49, 56, 63 47, 54, 61	圃場A : * < 0.01 / * < 0.02 / - / - (* 1回, 49日) 圃場B : * < 0.01 / * < 0.02 / - / - (* 1回, 47日)
はくさい (茎葉)	2	39.5%フロアブル	200倍 全面散布後土壌混和 100 L/10 a	1	48 71	圃場A : < 0.01 / * < 0.01 / * < 0.01 / - 圃場B : < 0.01 / * < 0.01 / * < 0.01 / -
	2	0.50%粉剤	全面土壌混和 40 kg/10 a	1	84 95	圃場A : < 0.01 / * < 0.01 / * < 0.01 / - 圃場B : < 0.01 / * < 0.01 / * < 0.01 / -
	2	39.5%フロアブル	200倍 100 L/10 a 定植前全面散布後土壌混和 + 200倍 100 L/10 a 定植前土壌表面散布	1+1	65, 72, 79 57, 64, 71	圃場A : * < 0.01 / * < 0.02 / - / - (* 2回, 65日) 圃場B : * < 0.01 / * < 0.02 / - / - (* 2回, 57日)
	2	39.5%フロアブル	300倍 全面散布後土壌混和 150 L/10 a 200倍 全面散布後土壌混和 100 L/10 a	1	69 85	圃場A : < 0.01 / * < 0.01 / * < 0.01 / - 圃場B : < 0.01 / * < 0.01 / * < 0.01 / -
キャベツ (葉球)	2	39.5%フロアブル	400倍 全面散布後土壌混和 200 L/10 a	2	60, 67, 74 62, 69, 76	圃場A : * < 0.01 / * < 0.02 / * < 0.02 / - (* 2回, 60日) 圃場B : * < 0.01 / * < 0.02 / * < 0.02 / - (* 2回, 62日)
	2	0.50%粉剤	全面土壌混和 40 kg/10 a	1	48 64	圃場A : < 0.01 / * < 0.01 / * < 0.01 / - 圃場B : < 0.01 / * < 0.01 / * < 0.01 / -
	2	39.5%フロアブル	200倍 は種前全面散布土壌混和 + 200倍 定植前全面散布土壌混和 + 200倍 定植前全面土壌散布	1+1+1	71, 78, 85 70, 77, 84	圃場A : * < 0.01 / * < 0.02 / - / - (* 3回, 71日) 圃場B : * < 0.01 / * < 0.02 / - / - (* 3回, 70日)
	2	39.5%フロアブル	200倍 100 L/10 a 定植前全面土壌散布	1	59, 66, 73 67, 74, 81	圃場A : * < 0.01 / * < 0.02 / - / - (* 1回, 59日) 圃場B : * < 0.01 / * < 0.02 / - / - (* 1回, 67日)
芽キャベツ (葉球)	2	0.50%粉剤	全面土壌混和 40 kg/10 a	1	93 147	圃場A : < 0.01 / * < 0.01 / * < 0.01 / - 圃場B : < 0.01 / * < 0.01 / * < 0.01 / -
こまつな (茎葉)	2	0.50%粉剤	全面土壌混和 40 kg/10 a	1	42, 49, 56 36, 43, 50	圃場A : * < 0.01 / * < 0.02 / * < 0.02 / - (* 1回, 42日) (#) 圃場B : * < 0.01 / * < 0.02 / * < 0.02 / - (* 1回, 36日) (#)
みずな (茎葉)	2	0.50%粉剤	全面土壌混和 40 kg/10 a	1	60, 67, 74 42, 49, 56	圃場A : * < 0.01 / - / - / - (* 1回, 60日) (#) 圃場B : * < 0.01 / - / - / - (* 1回, 42日) (#)
チンゲンサイ (茎葉)	2	0.50%粉剤	全面土壌混和 40 kg/10 a	1	26 44	圃場A : < 0.01 / 0.01 / * < 0.01 / - 圃場B : < 0.01 / * < 0.01 / * < 0.01 / -
カリフラワー (花蕾)	2	0.50%粉剤	全面土壌混和 40 kg/10 a	1	43 48	圃場A : < 0.01 / * < 0.01 / * < 0.01 / - 圃場B : < 0.01 / * < 0.01 / * < 0.01 / -
	2	39.5%フロアブル	200倍 定植時土壌混和 100 L/10 a	1	58, 65, 72 103, 110, 117	圃場A : * < 0.01 / * < 0.02 / - / - (* 1回, 58日) 圃場B : * < 0.01 / * < 0.02 / - / - (* 1回, 103日)
ブロッコリー (花蕾)	2	0.50%粉剤	全面土壌混和 40 kg/10 a	1	41 65	圃場A : < 0.01 / * < 0.01 / * < 0.01 / - 圃場B : < 0.01 / * < 0.01 / * < 0.01 / -
	2	39.5%フロアブル	200倍 定植前土壌混和 100 L/10 a	1	71, 78, 85	圃場A : * 0.02 / * < 0.02 / - / - (* 1回, 78日, * 1回, 71日) 圃場B : * < 0.01 / * < 0.02 / - / - (* 1回, 71日)
なばな (茎葉)	2	0.50%粉剤	全面土壌混和 40 kg/10 a	1	60 75	圃場A : < 0.01 / * < 0.01 / * < 0.01 / - 圃場B : < 0.01 / * < 0.01 / * < 0.01 / -
のぎわな (茎葉)	2	0.50%粉剤	全面土壌混和 40 kg/10 a	1	63 97	圃場A : < 0.01 / * < 0.01 / * < 0.01 / - 圃場B : < 0.01 / * < 0.01 / * < 0.01 / -
みずかけな (茎葉)	2	0.50%粉剤	全面土壌混和 40 kg/10 a	1	147 152	圃場A : < 0.01 / * < 0.01 / * < 0.01 / - (#) 圃場B : < 0.01 / * < 0.01 / * < 0.01 / - (#)
たかな (茎葉)	2	0.50%粉剤	全面土壌混和 30~40 kg/10 a	1	67, 74	圃場A : * < 0.01 / - / - / - (* 1回, 67日) 圃場B : * < 0.01 / - / - / - (* 1回, 67日)
ひろしまな (茎葉)	1	0.50%粉剤	全面土壌混和 40 kg/10 a	1	33, 40, 48	圃場A : * < 0.01 / * < 0.02 / * < 0.02 / - (* 1回, 33日)
山形みどりな (茎葉)	2	0.50%粉剤	全面土壌混和 40 kg/10 a	1	21, 35, 49	圃場A : * < 0.01 / * < 0.02 / * < 0.02 / - (* 1回, 21日) 圃場B : * < 0.01 / * < 0.02 / * < 0.02 / - (* 1回, 21日)

フルアジナムの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件			各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注1)	
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	【フルアジナム/代謝物B/代謝物C/代謝物F】
オータムボエム (茎葉)	2	0.50%粉剤	全面散布後土壌混和 40 kg/10 a	1	46, 53, 60 39, 46, 53	圃場A: *0.01/-/-/- (※1回, 46日) 圃場B: *0.01/-/-/- (※1回, 39日)
ごぼう (根部)	2	50.0%水和剤	1000倍 茎葉散布 300 L/10 a	3	7, 14, 21	圃場A: <0.01/<0.01/<0.01/- 圃場B: <0.01/<0.01/<0.01/-
	4	39.5%フロアブル	1000倍 茎葉散布 200, 190 L/10 a 1000倍 茎葉散布 189, 181 L/10 a	3	7, 14, 21 7, 14, 21, 28	圃場A: 0.03/<0.02/-/- 圃場B: <0.01/<0.02/-/- 圃場C: <0.01/<0.02/-/- 圃場D: *0.06/<0.02/-/- (※3回, 28日)
レタス (茎葉)	2	0.50%粉剤	全面土壌混和 30 kg/10 a	1	42 49	圃場A: <0.01/<0.01/<0.01/- 圃場B: <0.01/<0.01/<0.01/-
	2	39.5%フロアブル	200倍 土壌混和 100 L/10 a	1	50, 57, 64 59, 66, 73	圃場A: *0.01/*0.02/*0.01/- (※1回, 50日) 圃場B: *0.01/*0.02/*0.01/- (※1回, 59日)
	2	39.5%フロアブル	200倍 100 L/10 a 定植前全面散布後土壌混和 + 200倍 100 L/10 a 定植前土壌表面散布	1+1	45, 52, 59 44, 51, 56	圃場A: *0.01/*0.02/-/- (※2回, 45日) 圃場B: *0.01/*0.02/-/- (※2回, 44日)
リーフレタス (茎葉)	2	39.5%フロアブル	200倍 全面散布後土壌混和 100 L/10 a	1	29, 36, 43 33, 40, 47	圃場A: *0.01/-/-/- (※1回, 29日) 圃場B: *0.01/-/-/- (※1回, 33日)
	2	39.5%フロアブル	200倍 100 L/10 a 定植前全面散布後土壌混和 + 200倍 100 L/10 a 定植前土壌表面散布	1+1	31, 38, 45 41, 48, 55	圃場A: *0.01/-/-/- (※2回, 31日) 圃場B: *0.01/-/-/- (※2回, 41日)
サラダ菜 (茎葉)	2	39.5%フロアブル	200倍 全面散布後土壌混和 100 L/10 a	1	29, 36, 43 33, 40, 47	圃場A: *0.01/-/-/- (※1回, 29日) 圃場B: *0.01/-/-/- (※1回, 33日)
	2	39.5%フロアブル	200倍 100 L/10 a 定植前全面散布後土壌混和 + 200倍 100 L/10 a 定植前土壌表面散布	1+1	31, 38, 45 27, 34, 41	圃場A: *0.01/-/-/- (※2回, 31日) 圃場B: *0.01/-/-/- (※2回, 27日)
たまねぎ (鱗茎)	2	50.0%水和剤	1000倍 散布 200 L/10 a	5	7, 14	圃場A: <0.01/<0.01/<0.01/- 圃場B: <0.01/<0.01/<0.01/-
	2	50.0%水和剤	50倍 5分間 鱗茎根部浸漬	1	119 236	圃場A: <0.01/<0.01/<0.01/- 圃場B: <0.01/<0.01/<0.01/-
	2	50.0%水和剤	50倍 定植前苗根部浸漬 + 250倍 25 L/10 a 散布	1+5	3, 7, 14	圃場A: <0.01/<0.02/-/- (※) 圃場B: <0.01/<0.02/-/- (※)
	2	39.5%フロアブル	50倍 定植前苗根部浸漬 + 250倍 25 L/10 a 散布	1+5	3, 7, 14	圃場A: <0.01/<0.02/-/- 圃場B: <0.01/<0.02/-/-
	2	39.5%フロアブル	50倍 定植前苗根部浸漬 + 1000倍 200, 176 L/10 a 散布	1+5	3, 7, 14	圃場A: <0.01/<0.02/-/- 圃場B: 0.01/<0.02/-/- 圃場A: 0.08/-/-/- 圃場B: *0.01/-/-/- (※7回, 7日) 圃場C: <0.01/<0.02/-/- 圃場D: <0.01/<0.02/-/- 圃場E: <0.01/<0.02/-/- 圃場F: <0.01/<0.02/-/- 圃場G: <0.01/<0.02/-/-
	2	0.50%粉剤 + 39.5%フロアブル	40 kg/10 a 土壌混和 + 50倍 苗根部浸漬 + 250倍 25 L/10 a 散布	1+1+5	3, 7, 14	圃場A: <0.01/<0.02/-/- 圃場B: <0.01/<0.02/-/-
ねぎ (根深)	2	0.50%粉剤	株元散布 15 kg/10 a	2	21	圃場A: <0.01/<0.01/<0.01/- 圃場B: <0.01/<0.01/<0.01/-
ねぎ (葉茎)	2	0.50%粉剤	株元散布 15 kg/10 a	2	21	圃場A: 0.01/<0.01/<0.01/- 圃場B: 0.01/<0.01/<0.01/-
にら (茎葉)	2	0.50%粉剤	株元散布 20 kg/10 a	1	30	圃場A: <0.01/<0.01/<0.01/- 圃場B: <0.01/<0.01/<0.01/-
アスパラガス (若茎)	2	50.0%水和剤	1000倍 散布 400 L/10 a	5	247 293	圃場A: <0.01/<0.01/<0.01/- (※) 圃場B: <0.01/<0.01/<0.01/- (※)
	2	39.5%フロアブル	2000倍 茎葉散布 200, 278 L/10 a	5	7, 14, 21, 28	圃場A: *0.01/-/-/- (※5回, 7日) 圃場B: *0.01/-/-/- (※5回, 7日)
らっきょう (鱗茎)	6	50.0%水和剤	1000倍 散布 200 L/10 a	5	7, 14	圃場A: 0.01/<0.01/<0.01/- 圃場B: 0.04/<0.01/<0.01/-
					14	圃場C: 0.01/-/-/- 圃場D: <0.01/-/-/- 圃場E: 0.01/-/-/- 圃場F: 0.01/-/-/-
食用ゆり (鱗茎、根部)	2	50.0%水和剤	1000倍 散布 200 L/10 a	5	14, 21, 28	圃場A: <0.01/<0.01/<0.01/- 圃場B: 0.02/<0.01/<0.01/-
	2	50.0%水和剤	50倍 瞬間浸漬 + 1000倍 200 L/10 a 散布	1+6	14, 27, 41	圃場A: 0.76/-/-/- 圃場B: 0.34/-/-/-
			100倍 瞬間浸漬 + 1000倍 200 L/10 a 散布		14, 27, 41	圃場A: 0.44/-/-/- 圃場B: 0.52/-/-/-
	2	39.5%フロアブル	50倍 瞬間浸漬 + 1000倍 267, 200 L/10 a 散布	2+6	14, 21, 28 14, 21, 28, 35	圃場A: 1.21/-/-/- 圃場B: *1.92/-/-/- (※8回, 21日)

フルアジナムの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件			各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注1)	
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	【フルアジナム/代謝物B/代謝物C/代謝物F】
にんじん (根部)	2	50.0%水和剤	166.7倍 100 L/10 a 全面散布後土壌混和	1	98	圃場A : <0.01/<0.01/<0.01/- (#) 圃場B : <0.01/<0.01/<0.01/- (#)
	2	50.0%水和剤	166.7倍 100 L/10 a 全面散布後土壌混和 + 1000倍 200 L/10 a 散布	1+3	14, 21, 28	圃場A : 0.10/<0.01/<0.01/- (#) 圃場B : *0.06/<0.01/<0.01/- (*4回, 21日) (#)
むかご (球芽)	2	50.0%水和剤	2000倍 散布 300 L/10 a	1	7, 14, 21	圃場A : 0.40/-/-/- 圃場B : 2.18/-/-/-
温州みかん (果肉)	2	50.0%水和剤	1000倍 散布 400 L/10 a	2	30, 60	圃場A : 0.05/<0.01/<0.01/- (#) 圃場B : 0.09/<0.01/<0.01/- (#)
	4	39.5%フロアブル	2000倍 散布 400 L/10 a	2	30 31 30	圃場A : 0.11/<0.01/<0.01/- (#) 圃場B : 0.08/<0.01/<0.01/- (#) 圃場C : 0.02/-/-/- (#) 圃場D : 0.02/-/-/- (#)
温州みかん (果皮)	2	50.0%水和剤	1000倍 散布 400 L/10 a	2	30, 60	圃場A : 3.28/<0.01/<0.02/- (#) 圃場B : 3.12/<0.02/<0.03/- (#)
	2	39.5%フロアブル	2000倍 散布 400 L/10 a	2	31 30	圃場A : 4.37/-/-/- (#) 圃場B : 1.52/-/-/- (#)
温州みかん (果実)	2	50.0%水和剤	1000倍 散布 400 L/10 a	2	30, 60	圃場A : 0.60/<0.01/<0.01/- (#) 注2) 圃場B : 0.64/<0.01/<0.01/- (#) 注2)
	2	39.5%フロアブル	2000倍 散布 400 L/10 a	2	31 30	圃場A : 0.76/-/-/- (#) 注2) 圃場B : 0.32/-/-/- (#) 注2)
夏みかん (果肉)	2	50.0%水和剤	1000倍 散布 500, 400 L/10 a	2	30, 60	圃場A : <0.01/<0.01/<0.01/- (#) 圃場B : <0.01/<0.01/<0.01/- (#)
	2	39.5%フロアブル	2000倍 散布 600, 400 L/10 a	2	30 29	圃場A : 0.25/<0.01/<0.01/- (#) 圃場B : 0.14/<0.01/<0.01/- (#)
夏みかん (果皮)	2	50.0%水和剤	1000倍 散布 500, 400 L/10 a	2	30, 60	圃場A : 3.02/<0.02/<0.06/- (*2回, 60日) (#) 圃場B : 0.97/<0.02/<0.02/- (#)
	2	39.5%フロアブル	2000倍 散布 600, 400 L/10 a	2	30 29	圃場A : 4.59/<0.01/<0.06/- (#) 圃場B : 6.73/<0.02/<0.06/- (#)
夏みかん (果実全体)	2	50.0%水和剤	1000倍 散布 500, 400 L/10 a	2	30, 60	圃場A : 0.96/-/-/- (#) 圃場B : 0.29/-/-/- (#)
	2	39.5%フロアブル	2000倍 散布 600, 400 L/10 a	2	30 29	圃場A : 1.34/-/-/- (#) 圃場B : 1.71/-/-/- (#)
きんかん (果実全体)	1	39.5%フロアブル	2000倍 散布 300 L/10 a	1	14, 21, 30	圃場A : 0.20/<0.02/<0.01/-
シークワーサー (果実全体)	1	39.5%フロアブル	2000倍 散布 600 L/10 a	1	14, 21, 28	圃場A : *0.23/*<0.02/<0.01/- (*1回, 28日)
すだち (果実全体)	1	50.0%水和剤	1000倍 散布 500 L/10 a	1	14, 21, 28	圃場A : *0.14/*<0.02/<0.01/- (*1回, 28日)
ゆず (果実全体)	1	50.0%水和剤	1000倍 散布 556 L/10 a	1	14, 21, 28	圃場A : *0.91/*<0.02/<0.01/- (*1回, 28日)
りんご (果実)	6	50.0%水和剤	1000倍 散布 500 L/10 a	5	21, 30, 45	圃場A : 0.15/<0.01/<0.01/<0.01 (#) 圃場B : *0.26/*<0.01/*<0.01/- (*5回, 43日) (#) 圃場C : 0.25/<0.01/<0.01/- (#) 圃場D : 0.03/<0.01/<0.01/- (#) 圃場E : 0.04/<0.01/<0.01/- (#) 圃場F : 0.04/<0.01/<0.01/- (#)
					45	圃場A : 0.03/<0.01/<0.01/- (#) 圃場B : 0.07/<0.01/<0.01/- (#) 圃場C : 0.04/-/-/- (#) 圃場D : 0.02/-/-/- (#) 圃場E : 0.26/-/-/- (#) 圃場F : 0.20/-/-/- (#)
					30, 45	圃場A : *0.01/*<0.01/*<0.01/- (*1回, 45日) 圃場B : *0.01/*<0.01/*<0.01/- (*1回, 45日) 圃場C : <0.01/<0.01/<0.01/-
	3	39.5%フロアブル	500倍 土壌灌注 100 L/樹	1	45, 60 165	圃場A : 0.05/<0.02/<0.02/- 圃場B : 0.02/<0.02/<0.02/-
	2	39.5%フロアブル	500倍 100 L/樹 土壌灌注 + 2000倍 500 L/10 a 散布	1+1	45, 52, 59	圃場A : 0.20/<0.01/<0.01/- (#) 圃場B : 0.20/<0.01/<0.01/- (#) 圃場C : 0.11/<0.01/<0.01/- (#) 圃場D : 0.10/<0.01/<0.01/- (#)
	7	50.0%水和剤	1000倍 散布 400 L/10 a	5	14, 21, 30, 45 14, 21, 30, 44 14, 21, 30, 40 14, 21, 29, 44	圃場E : 0.13/<0.01/<0.01/- (#) 圃場F : 0.04/<0.01/<0.01/- (#) 圃場G : *0.24/*<0.01/*<0.02/- (*5回, 29日) (#) 圃場A : *0.12/*<0.01/*<0.01/- (*3回, 30日) (#) 圃場B : *0.30/*<0.01/*<0.03/- (*3回, 30日) (#)
2	39.5%フロアブル	2000倍 散布 600 L/10 a	3	21, 30		

フルアジナムの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件			各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注1)	
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	【フルアジナム/代謝物B/代謝物C/代謝物F】
日本なし (果実)	6	39.5%フロアブル	2000倍 散布 400 L/10 a	5	30	圃場A : 0.04/<0.01/<0.01/- (#)
						圃場B : 0.10/<0.01/<0.01/- (#)
						圃場C : 0.08/-/-/- (#)
びわ (果肉)	2	39.5%フロアブル	500倍 土壌灌注 100 L/樹	1	30, 45	圃場D : 0.14/-/-/- (#)
						圃場E : 0.03/-/-/- (#)
						圃場F : 0.14/-/-/- (#)
びわ (果皮及び種子を含む。)	3	39.5%フロアブル	2000倍 散布 444 L/10 a 2000倍 散布 400 L/10 a 2000倍 散布 553 L/10 a	1+1	30, 37, 44	圃場A : <0.01/<0.01/<0.01/-
						圃場B : 0.03/<0.02/<0.02/-
						圃場C : 0.02/<0.02/<0.02/-
もも (果肉)	2	50.0%水和剤	1000倍 散布 400 L/10 a	4	7, 14, 21 7, 14, 24	圃場A : *0.01/*<0.01/*<0.01/- (*3回, 7日) (#)
						圃場B : *0.01/*<0.01/*<0.01/- (*3回, 7日) (#)
						圃場C : *0.01/*<0.01/*<0.01/- (*1回, 30日)
もも (果皮)	4	39.5%フロアブル	2000倍 散布 400 L/10 a	4	7	圃場A : <0.01/<0.01/<0.01/-
						圃場B : <0.01/<0.01/<0.01/- (#)
						圃場C : <0.01/<0.01/<0.01/- (#)
ネクタリン (果実)	2	39.5%フロアブル	500倍 土壌灌注 100 L/樹	1	14, 21, 28	圃場D : 0.01/-/-/- (#)
						圃場A : *1.05/-/-/- 注3) (*1回, 9日)
						圃場B : 0.12/-/-/- 注3)
すもも (果実)	2	50.0%水和剤	2000倍 散布 500 L/10 a	1	45, 60	圃場C : *0.66/-/-/- 注3) (*1回, 9日)
						圃場A : 0.02/<0.01/<0.01/<0.01 (#)
						圃場B : 0.04/<0.01/<0.01/<0.01 (#)
ぶどう (果実)	2	39.5%フロアブル	500倍 土壌灌注 100 L/樹	1	30, 37, 44	圃場A : <0.01/<0.01/<0.01/-
						圃場B : *0.01/*<0.01/*<0.01/- (*2回, 6日)
						圃場C : *0.01/*<0.01/*<0.01/- (*4回, 14日) (#)
ぶどう (果実)	2	50.0%水和剤	1000倍 散布 400 L/10 a	4	7, 14, 21 7, 14, 24	圃場A : 0.08/<0.01/<0.01/- (#)
						圃場B : 7.38/<0.01/0.08/- (#)
						圃場C : 0.03/-/-/- (#)
ぶどう (果実)	2	39.5%フロアブル	500倍 100 L/10 a 土壌灌注 + 2000倍 700 L/10 a 散布	1+1	7, 12, 17 6, 12, 18	圃場D : 4.12/-/-/- (#)
						圃場A : 2.92/<0.05/<0.05/-
						圃場B : *1.84/*<0.05/*<0.05/- (*2回, 6日) (#)
ぶどう (果実)	2	39.5%フロアブル	500倍 100 L/10 a 土壌灌注 + 2000倍 700 L/10 a 散布	1+1	7, 12, 17 6, 12, 18	圃場A : 0.45/-/-/- 注4)
						圃場B : *0.28/-/-/- 注4) (*2回, 6日)
						圃場C : *0.01/*<0.01/*<0.01/- (*1回, 28日)
ぶどう (果実)	2	39.5%フロアブル	500倍 土壌灌注 100 L/樹	1	143, 150, 157 70, 77, 84	圃場D : *0.01/*<0.01/*<0.01/- (*1回, 28日)
						圃場A : *0.01/*<0.02/*<0.01/- (*1回, 143日)
						圃場B : *0.01/*<0.02/*<0.01/- (*1回, 70日)
ぶどう (果実)	2	39.5%フロアブル	500倍 土壌灌注 100 L/樹	1	21, 30, 45	圃場A : <0.01/<0.01/<0.01/-
						圃場B : *0.01/*<0.01/*<0.01/- (*1回, 44日) (#)
						圃場C : *0.01/*<0.01/*<0.01/- (*1回, 44日) (#)
ぶどう (果実)	2	50.0%水和剤	2000倍 散布 200 L/10 a	3	30, 45, 60	圃場A : 0.01/<0.01/<0.01/-
						圃場B : 0.03/<0.01/<0.01/-
						圃場C : <0.01/<0.01/<0.01/-
ぶどう (果実)	2	50.0%水和剤	100倍 休眠期樹幹散布 200 L/10 a	1	141 125	圃場A : <0.01/<0.01/<0.01/- (#)
						圃場B : <0.01/<0.01/<0.01/- (#)
						圃場C : 0.04/<0.01/<0.01/- (#)
ぶどう (果実)	4	39.5%フロアブル	2000倍 散布 200 L/10 a 2000倍 散布 150 L/10 a	3	60 59 61	圃場D : <0.01/<0.01/<0.01/- (#)
						圃場A : <0.01/<0.02/<0.01/-
						圃場B : 0.02/<0.02/<0.01/-
ぶどう (果実)	2	39.5%フロアブル	1000倍 散布 200 L/10 a	3	60	圃場A : <0.01/<0.01/<0.01/-
						圃場B : <0.01/<0.01/<0.01/- (#)
						圃場C : 0.01/<0.01/<0.01/- (#)
ぶどう (果実)	2	39.5%フロアブル	500倍 土壌灌注 150 L/樹	1	143 166	圃場A : 0.12/<0.01/<0.01/- (#)
						圃場B : <0.01/<0.01/<0.01/- (#)
						圃場C : <0.01/<0.01/<0.01/-
ぶどう (果実)	2	39.5%フロアブル	2000倍 500, 300 L/10 a 散布 + 500倍 100 L/樹 土壌灌注	1+1	21, 28, 35	圃場A : 0.01/<0.02/<0.02/-
						圃場B : <0.01/<0.02/<0.02/-
						圃場C : <0.01/<0.02/<0.02/-

フルアジナムの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件			各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注1)	
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	【フルアジナム/代謝物B/代謝物C/代謝物F】
かき (果実)	2	39.5%フロアブル	2000倍 散布	3	45, 59	圃場A : *0.07/<0.01/<0.01/- (*3回, 59日) (#)
			500 L/10 a		45, 60	圃場B : 0.10/<0.01/*0.02/- (*3回, 60日) (#)
キウイフルーツ (果肉)	2	50.0%水和剤	1000倍 散布	4	30, 45	圃場A : 0.01/<0.01/<0.01/- (#)
			300 L/10 a		29, 44	圃場B : *0.01/*<0.01/*<0.01/- (*4回, 29日) (#)
	2	39.5%フロアブル	2000倍 散布	4	31	圃場A : 0.04/<0.01/<0.01/- (#)
			300 L/10 a		32	圃場B : 0.07/<0.01/<0.01/- (#)
	2	39.5%フロアブル	500倍 100 L/樹 土壌灌注 + 2000倍 320, 375 L/10 a 全面散布	1+1	7, 14, 21	圃場A : *<0.01/-/-/- (*2回, 21日) (#)
			圃場B : *<0.01/-/-/- (*2回, 21日) (#)			
3	50.0%水和剤	1000倍 散布	1	28, 35, 42	圃場A : *0.011/-/-/- (*1回, 28日)	
		380 L/10 a		29, 36, 43	圃場B : *0.004/-/-/- (*1回, 29日)	
		1000倍 散布		29, 36, 43	圃場C : *0.004/-/-/- (*1回, 29日)	
350 L/10 a	50.0%水和剤	1000倍 散布	1	28, 35, 42	圃場A : *15.3/-/-/- (*1回, 28日)	
		380 L/10 a		29, 36, 43	圃場B : *15.4/-/-/- (*1回, 29日)	
		1000倍 散布		29, 36, 43	圃場C : *14.2/-/-/- (*1回, 29日)	
350 L/10 a	50.0%水和剤	1000倍 散布	1	28, 35, 42	圃場A : *1.17/-/-/- (*1回, 28日)	
		380 L/10 a		29, 36, 43	圃場B : *0.535/-/-/- (*1回, 29日)	
		1000倍 散布		29, 36, 43	圃場C : *0.858/-/-/- (*1回, 29日)	
パイナップル (果実)	2	50.0%水和剤	1000倍	1	462	圃場A : <0.01/<0.01/<0.01/-
			定植直前 20分間苗浸漬		692	圃場B : <0.01/<0.01/<0.01/-
いちじく (果実)	2	39.5%フロアブル	500倍 100 L/樹 土壌処理	1	28, 45, 51	圃場A : *<0.01/-/-/- (*1回, 28日)
			500倍 100 L/樹 土壌灌注		30, 45, 60	圃場B : *0.01/-/-/- (*1回, 30日)
茶 (荒茶)	2	50.0%水和剤	1000倍 散布	1, 2	7, 14, 21	圃場A : 3.22/0.04/0.06/<0.02 (#)
			200 L/10 a		圃場B : 9.95/0.09/0.24/<0.02 (#)	
	3	50.0%水和剤	2000倍 散布	1	21	圃場A : 0.52/-/-/-
			200 L/10 a		圃場B : 0.06/-/-/-	
	3	50.0%水和剤	2000倍 散布	1	14	圃場C : 0.39/-/-/-
			200 L/10 a		圃場A : 0.69/0.02/0.04/-	
2	39.5%フロアブル	2000倍 散布	1, 2	7, 14, 21	圃場B : 0.76/0.02/0.04/-	
		200 L/10 a		圃場C : 2.74/0.02/0.04/-		
茶 (湯浸出液)	2	50.0%水和剤	1000倍 散布	1, 2	7, 14, 21	圃場A : 2.68/0.03/0.08/-
			200 L/10 a		圃場B : 0.50/0.01/0.02/-	
2	39.5%フロアブル	2000倍 散布	1, 2	7, 14, 21	圃場A : 0.05/0.01/0.02/<0.02 (#)	
		200 L/10 a		圃場B : 0.19/0.04/0.04/<0.02 (#)		
2	39.5%フロアブル	2000倍 散布	1, 2	7, 14, 21	圃場A : 0.03/<0.01/<0.01/-	
		200 L/10 a		圃場B : <0.01/<0.01/<0.01/-		

- : 分析せず(又は計算せず)

(＃)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

今回、新たに提出された作物残留試験成績に網を付けて示している。

注1) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に使い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験(いわゆる最大使用条件下の作物残留試験)を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

代謝物B、代謝物C及び代謝物Fの残留濃度は、フルアジナム濃度に換算した値で示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について()内に記載した。

注2) 果肉及び果皮の重量比から果実全体の残留濃度を算出した。

注3) 果肉、果皮及び種子の重量比から果実全体の残留濃度を算出した。

注4) 果肉、果皮及び種子の重量比が不明のため、過去の作物残留試験等のデータから、それぞれの割合を果肉77%、果皮15%及び種子8%として果実全体の残留濃度を算出した

ばれいしょの39.5%フロアブルの作物残留試験について、種芋浸漬、植溝散布及び散布の試験条件(合計6回)の圃場は、散布の薬液濃度が異なる同一の圃場の試験である。食用ゆりの50.0%水和剤の作物残留試験について、瞬間浸漬及び散布の試験条件(合計7回)の圃場は、瞬間浸漬の薬液濃度が異なる同一圃場の試験である。

フルアジナムの作物残留試験一覧表 (韓国)

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度 (mg/kg) ^{注)} 【フルアジナム/代謝物B/代謝物C/代謝物F】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
とうがらし (実)	2	50%フロアブル	2000倍 散布 250 L/10 a	4	5, 7	圃場A : 0.21/-/-/ 圃場B : 0.12/-/-/-
とうがらし (葉)	1	50%フロアブル	2000倍 散布 250 L/10 a	4	5, 7	圃場A : 5.14/-/-/-

- : 分析せず

注) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験 (いわゆる最大使用条件下の作物残留試験) を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について () 内に記載した。

フルアジナムの作物残留試験一覧表 (米国)

農作物	試験圃場数	試験条件			各化合物の残留濃度 (mg/kg) ^(注) 【フルアジナム/代謝物K】	
		剤型	使用量・使用方法	回数		経過日数
ブルーベリー (果実)	12	40%フロアブル	総使用量 4405~4427 g ai/ha	6	28, 50	圃場A : *0.47/*0.11 (*6回, 28日)
			総使用量 4394~4439 g ai/ha		32, 39, 47	圃場B : *0.55/*0.049 (*6回, 32日)
			総使用量 4316~4439 g ai/ha		32, 39, 47	圃場C : *1.1/**0.040 (*6回, 32日、**6回, 39日)
			総使用量 4349~4416 g ai/ha		28, 50	圃場D : *0.53/*0.034 (*6回, 28日)
			総使用量 4293~4338 g ai/ha		28, 38, 50	圃場E : *0.25/*0.17 (*6回, 38日)
			総使用量 4293~4315 g ai/ha		29, 50	圃場F : *0.069/*0.11 (*6回, 29日)
			総使用量 4248~4349 g ai/ha		30, 51	圃場G : 0.15/0.09
			総使用量 4405~4472 g ai/ha		29, 50	圃場H : *1.35/*0.026 (*6回, 29日)
			総使用量 4439~4517 g ai/ha		29, 50	圃場I : *0.67/*0.081 (*6回, 29日)
			総使用量 4371~5044 g ai/ha		29, 47	圃場J : *1.8/*0.102 (*6回, 29日)
			総使用量 4517~4451 g ai/ha		29, 47	圃場K : *1.7/*0.080 (*6回, 29日)
			総使用量 4528 g ai/ha		23, 43	圃場L : *0.19/*0.10 (*6回, 43日)
	1	40%フロアブル	総使用量 6827 g ai/ha	6	28	圃場A : 2.85/0.26 (#)

(#)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

注) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験(いわゆる最大使用条件下の作物残留試験)を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

代謝物Kの残留濃度は、フルアジナム濃度に換算した値で示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について()内に記載した。

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値 ppm	
小麦	0.05	0.05	○			<0.01, <0.01(¥)
小豆類	0.1	0.1	○			0.01, 0.02(¥) (あずき)
らっかせい	0.05	0.05	○			<0.01, <0.01(¥)
ばれいしょ	0.1	0.1	○			<0.01, 0.02(¥)
かんしょ	0.03		申			<0.01~0.02 (n=6)
やまいも (長いものをいう。)	0.05	0.05	○			※1
てんさい	0.5	0.5	○			0.14, 0.15(¥)
だいこん類 (ラディッシュを含む。) の根	0.05	0.05	○			<0.01, <0.01(¥)
だいこん類 (ラディッシュを含む。) の葉	0.1	0.1	○			<0.01, 0.02(¥) (つまみ菜)
かぶ類の根	0.05	0.05	○			<0.01, <0.01(¥)
かぶ類の葉	0.05	0.05	○			<0.01, <0.01(¥)
はくさい	0.05	0.05	○			<0.01, <0.01(¥)
キャベツ	0.05	0.05	○			<0.01, <0.01(¥)
芽キャベツ	0.05	0.05	○			<0.01, <0.01(¥)
こまつな	0.05	0.05	○			<0.01, <0.01(¥) (＃)
きょうな	0.05	0.05	○			<0.01, <0.01(＃) (¥) (みずな)
チンゲンサイ	0.05	0.05	○			<0.01, <0.01(¥)
カリフラワー	0.05	0.05	○			<0.01, <0.01(¥)
ブロッコリー	0.1	0.1	○			<0.01, 0.02(¥)
その他のあぶらな科野菜	0.05	0.05	○			<0.01, <0.01(¥) (なばな)
ごぼう	0.2	0.2	○			<0.01~0.06 (n=4)
レタス (サラダ菜及びちしゃを含む。)	0.05	0.05	○			<0.01, <0.01(¥)
たまねぎ	0.2	0.2	○			<0.01~0.08 (n=7)
ねぎ (リーキを含む。)	0.05	0.05	○			0.01, 0.01(¥)
にら	0.05	0.05	○			<0.01, <0.01(¥)
アスパラガス	0.05	0.05	○			<0.01, <0.01(¥)
その他のゆり科野菜	5	5	○			1.21, 1.92(¥) (食用ゆり)
にんじん	0.3	0.3	○			0.06, 0.10(＃) (¥)
その他のなす科野菜	0.3	0.3		§ 0.3	韓国	【韓国とうがらし(0.12, 0.21)】
その他の野菜 (ずいき及びれんこんを除く。)	5	5	○			0.40, 2.18(¥) (むかご)
みかん (外果皮を含む。)	2	2	○			0.60, 0.64(＃) (¥)
なつみかんの果実全体	5	5	○			1.34, 1.71(＃) (¥)
レモン	5	5	○			(なつみかんの果実全体参照)
オレンジ (ネーブルオレンジを含む。)	5	5	○			(なつみかんの果実全体参照)
グレープフルーツ	5	5	○			(なつみかんの果実全体参照)
ライム	5	5	○			(なつみかんの果実全体参照)
その他のかんきつ類果実	5	5	○			(なつみかんの果実全体参照)
りんご	0.2	0.2	○			0.02, 0.05(¥)
日本なし	0.2	0.2	○			0.02, 0.03(¥)
西洋なし	0.2	0.2	○			(日本なし参照)
びわ (果梗を除き、果皮及び種子を含む。)	3	2	○			0.12, 0.66, 1.05
もも (果皮及び種子を含む。)	1	0.7	○			0.28, 0.45(¥)
ネクタリン	0.05	0.05	○			<0.01, <0.01(¥)
あんず (アプリコットを含む。)	0.05	0.05	○			(すもも参照)
すもも (プルーンを含む。)	0.05	0.05	○			<0.01, <0.01(＃) (¥)
うめ	0.2	0.1	○			0.01, 0.03(¥)
おうとう (チェリーを含む。)	0.05	0.05	○			<0.01, <0.01(¥)
いちご	0.05	0.05	○			<0.01, <0.01(¥)
ブルーベリー	4	4	○			【0.069~1.8 (n=12) (米国)】
クランベリー	4	4				【米国ブルーベリー参照】
ハックルベリー	4	4				【米国ブルーベリー参照】
その他のベリー類果実	4	4				【米国ブルーベリー参照】

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値 ppm	
ぶどう	0.05	0.05	○			<0.01, 0.01(¥)
かき	0.3	0.3	○			0.07, 0.10(＃)(¥)
キウイー (果皮を含む。)	3	3	○			0.535, 0.858, 1.17
パイナップル	0.05	0.05	○			<0.01, <0.01(¥)
グアバ		4				※2
その他の果実	0.05	0.05	○			<0.01, 0.01(¥) (いちじく)
茶	6	5	○			0.69, 0.76, 2.74(荒茶)
その他のスパイス	10	10	○			3.12, 3.28(＃)(¥) (みかん果皮)
牛の筋肉	0.01	0.01				推：0.002
牛の脂肪	0.02	0.02				推：0.019
牛の肝臓	0.01	0.01				推：0.005
牛の腎臓	0.01	0.01				推：0.001
牛の食用部分	0.01	0.01				(牛の肝臓参照)
乳	0.01	0.01				推：0.004

申請（国内における登録、承認等の申請、インポートライセンス申請）以外の理由により本基準（暫定基準以外の基準）を見直す基準値案については、太枠線で囲んで示した。

「登録有無」の欄に「○」の記載があるものは、国内で農薬等としての使用が認められていることを示している。

「登録有無」の欄に「申」の記載があるものは、国内で農薬の登録申請等の基準値設定依頼がなされたものであることを示している。

(＃) これらの作物残留試験は、登録又は申請の適用の範囲内で試験が行われていない。

(¥) 作物残留試験結果の最大値を基準値設定の根拠とした。

§：現行基準値設定当時の韓国の基準値を示す。現時点でIT申請されていないことから、現行の基準値を維持することとする。

その他の野菜のずいき及びれんこんは短期暴露評価でESTI試算を超えるため、一律基準とする。

「作物残留試験」欄に「推」の記載のあるものは、推定残留濃度であることを示している。

※1) 海外において基準値が設定されていることを考慮し、現行の基準値を維持することとする。

※2) 現行のグアバの基準値は、米国のIT申請の作物Chilean guavaからグアバに設定されていたが、当該作物はCodexではその他のベリー類果実に食品分類されることから、Codexに準じてChilean guavaをその他のベリー類果実に食品分類し、グアバの基準値を削除した。

フルアジナムの推定摂取量 (単位: µg/人/day)

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に用いた数値 (ppm)	国民全体 (1歳以上) TMDI	国民全体 (1歳以上) EDI	幼児 (1~6歳) TMDI	幼児 (1~6歳) EDI	妊婦 TMDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) TMDI	高齢者 (65歳以上) EDI
小麦	0.05	0.01	3.0	0.6	2.2	0.4	3.5	0.7	2.5	0.5
小豆類	0.1	0.015	0.2	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.4	0.1
らっかせい	0.05	0.01	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
ばれいしょ	0.1	0.015	3.8	0.6	3.4	0.5	4.2	0.6	3.5	0.5
かんしょ	0.03	0.012	0.2	0.1	0.2	0.1	0.4	0.1	0.3	0.1
やまいも (長いもをいう。)	0.05	0.01	0.2	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.2	0.0
てんさい	0.5	0.145	16.3	4.7	13.9	4.0	20.6	6.0	16.6	4.8
だいこん類 (ラディッシュを含む。)の根	0.05	0.01	1.7	0.3	0.6	0.1	1.0	0.2	2.3	0.5
だいこん類 (ラディッシュを含む。)の葉	0.1	0.015	0.2	0.0	0.1	0.0	0.3	0.0	0.3	0.0
かぶ類の根	0.05	0.01	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.1
かぶ類の葉	0.05	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
はくさい	0.05	0.01	0.9	0.2	0.3	0.1	0.8	0.2	1.1	0.2
キャベツ	0.05	0.01	1.2	0.2	0.6	0.1	1.0	0.2	1.2	0.2
芽キャベツ	0.05	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
こまつな	0.05	0.01	0.3	0.1	0.1	0.0	0.3	0.1	0.3	0.1
きょうな	0.05	0.01	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
チンゲンサイ	0.05	0.01	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
カリフラワー	0.05	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ブロッコリー	0.1	0.015	0.5	0.1	0.3	0.0	0.6	0.1	0.6	0.1
その他のあぶらな科野菜	0.05	0.01	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0
ごぼう	0.2	0.0275	0.8	0.1	0.3	0.0	0.8	0.1	0.9	0.1
レタス (サラダ菜及びちしゃを含む。)	0.05	0.01	0.5	0.1	0.2	0.0	0.6	0.1	0.5	0.1
たまねぎ	0.2	0.02	6.2	0.6	4.5	0.5	7.1	0.7	5.6	0.6
ねぎ (リーキを含む。)	0.05	0.01	0.5	0.1	0.2	0.0	0.3	0.1	0.5	0.1
にら	0.05	0.01	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
アスパラガス	0.05	0.01	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
その他のゆり科野菜	5	1.565	3.0	0.9	0.5	0.2	1.0	0.3	6.0	1.9
にんじん	0.3	0.08	5.6	1.5	4.2	1.1	6.8	1.8	5.6	1.5
その他のなす科野菜	0.3	0.165	0.3	0.2	0.0	0.0	0.4	0.2	0.4	0.2
その他の野菜 (ずいき及びびんごんを除く。)	5	1.29	67.0	17.3	31.5	8.1	50.5	13.0	70.5	18.2
みかん (外果皮を含む。)	2	0.62	35.6	11.0	32.8	10.2	1.2	0.4	52.4	16.2
なつみかんの果実全体	5	1.525	6.5	2.0	3.5	1.1	24.0	7.3	10.5	3.2
レモン	5	1.525	2.5	0.8	0.5	0.2	1.0	0.3	3.0	0.9
オレンジ (ネーブルオレンジを含む。)	5	1.525	35.0	10.7	73.0	22.3	62.5	19.1	21.0	6.4
グレープフルーツ	5	1.525	21.0	6.4	11.5	3.5	44.5	13.6	17.5	5.3
ライム	5	1.525	0.5	0.2	0.5	0.2	0.5	0.2	0.5	0.2
その他のかんきつ類果実	5	1.525	29.5	9.0	13.5	4.1	12.5	3.8	47.5	14.5
りんご	0.2	0.035	4.8	0.8	6.2	1.1	3.8	0.7	6.5	1.1
日本なし	0.2	0.025	1.3	0.2	0.7	0.1	1.8	0.2	1.6	0.2
西洋なし	0.2	0.025	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
びわ (果梗を除き、果皮及び種子を含む。)	3	0.61	1.5	0.3	0.9	0.2	5.7	1.2	1.2	0.2
もも (果皮及び種子を含む。)	1	0.365	3.4	1.2	3.7	1.4	5.3	1.9	4.4	1.6
ネクタリン	0.05	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
あんず (アブリコットを含む。)	0.05	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
すもも (プルーンを含む。)	0.05	0.01	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
うめ	0.2	0.02	0.3	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.4	0.0
おうとう (チェリーを含む。)	0.05	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
いちご	0.05	0.01	0.3	0.1	0.4	0.1	0.3	0.1	0.3	0.1
ブルーベリー	4	0.736	4.4	0.8	2.8	0.5	2.0	0.4	5.6	1.0
クランベリー	4	0.736	0.4	0.1	0.4	0.1	0.4	0.1	0.4	0.1
ハuckleベリー	4	0.736	0.4	0.1	0.4	0.1	0.4	0.1	0.4	0.1
その他のベリー類果実	4	0.736	0.4	0.1	0.4	0.1	0.8	0.1	0.4	0.1
ぶどう	0.05	0.01	0.4	0.1	0.4	0.1	1.0	0.2	0.5	0.1
かき	0.3	0.085	3.0	0.8	0.5	0.1	1.2	0.3	5.5	1.5
キウイ (果皮を含む。)	3	0.854	6.6	1.9	4.2	1.2	6.9	2.0	8.7	2.5
パイナップル	0.05	0.01	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
その他の果実	0.05	0.01	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
茶	6	0.114	39.6	0.8	6.0	0.1	22.2	0.4	56.4	1.1
その他のスパイス	10	3.2	1.0	0.3	1.0	0.3	1.0	0.3	2.0	0.6
陸棲哺乳類の肉類	0.02	筋肉 0.001 脂肪 0.013	1.2	0.2	0.9	0.1	1.3	0.2	0.8	0.1
陸棲哺乳類の食用部分 (肉類除く)	0.01	0.004	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
陸棲哺乳類の乳類	0.01	0.004	2.6	1.1	3.3	1.3	3.6	1.5	2.2	0.9
計			315.6	76.8	231.2	63.8	304.7	78.9	370.1	88.2
ADI比 (%)			57.3	13.9	140.1	38.7	52.1	13.5	66.0	15.7

TMDI: 理論最大1日摂取量 (Theoretical Maximum Daily Intake)

TMDI試算法: 基準値案×各食品の平均摂取量

EDI: 推定1日摂取量 (Estimated Daily Intake)

EDI試算法: 作物残留試験成績の平均値×各食品の平均摂取量

茶については、基準値 (6 ppm) 及び加工係数 (0.019) を用いて浸出液の基準値相当値 (0.114) を推定し、EDI試算をした。

「陸棲哺乳類の肉類」については、TMDI試算では、牛・豚・その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉、脂肪の摂取量にその範囲の基準値案で最も高い値を乗じた。また、EDI試算では、畜産物中の平均的な残留農薬濃度を用い、摂取量の筋肉及び脂肪の比率をそれぞれ80%、20%として試算した。

フルアジナムの推定摂取量（短期）：国民全体(1歳以上)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI ($\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重/day)	ESTI/ARFD (%)
小麦	小麦	0.05	○ 0.01	0.0	0
小豆類	いんげん	0.1	○ 0.015	0.0	0
らっかせい	らっかせい	0.05	○ 0.01	0.0	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.1	0.1	0.9	0
かんしょ	かんしょ	0.03	○ 0.02	0.3	0
やまいも（長いもをいう。）	やまいも	0.05	0.05	0.4	0
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	だいこんの根	0.05	0.05	0.6	0
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	だいこんの葉	0.1	0.1	0.8	0
かぶ類の根	かぶの根	0.05	0.05	0.4	0
かぶ類の葉	かぶの葉	0.05	0.05	0.1	0
はくさい	はくさい	0.05	0.05	0.6	0
キャベツ	キャベツ	0.05	0.05	0.5	0
こまつな	こまつな	0.05	0.05	0.2	0
きょうな	きょうな	0.05	0.05	0.2	0
チンゲンサイ	チンゲンサイ	0.05	0.05	0.4	0
カリフラワー	カリフラワー	0.05	0.05	0.4	0
ブロッコリー	ブロッコリー	0.1	0.1	0.6	0
その他のあぶらな科野菜	たかな	0.05	0.05	0.4	0
	菜花	0.05	0.05	0.1	0
ごぼう	ごぼう	0.2	○ 0.06	0.3	0
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	レタス類	0.05	0.05	0.3	0
たまねぎ	たまねぎ	0.2	○ 0.08	0.7	0
ねぎ（リーキを含む。）	ねぎ	0.05	0.05	0.2	0
にら	にら	0.05	0.05	0.1	0
アスパラガス	アスパラガス	0.05	0.05	0.1	0
その他のゆり科野菜	にんにくの芽	5	5	8.8	2
	らっきょう	5	5	5.3	1
にんじん	にんじん	0.3	0.3	1.3	0
	にんじんジュース	0.3	○ 0.08	0.5	0
その他のなす科野菜	とうがらし（生）	0.3	0.3	0.5	0
	ししとう	0.3	0.3	0.3	0
その他の野菜（ずいき及びれんこんを除く。）	もやし	5	5	11.5	2
	そら豆（生）	5	5	14.7	3
みかん（外果皮を含む。）	みかん	2	2	18.7	4
なつみかんの果実全体	なつみかん	5	0.7	8.7	2
レモン	レモン	5	0.7	1.5	0
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	オレンジ	5	0.7	6.6	1
	オレンジ果汁	5	○ 1.525	15.2	3
グレープフルーツ	グレープフルーツ	5	0.7	12.0	2
	きんかん	5	0.7	1.7	0
	ぼんかん	5	0.7	7.4	1
	ゆず	5	0.7	1.1	0
りんご	すだち	5	0.7	1.1	0
	りんご	0.2	0.2	2.9	1
	りんご果汁	0.2	○ 0.035	0.4	0
日本なし	日本なし	0.2	0.2	3.0	1
西洋なし	西洋なし	0.2	0.2	2.8	1
びわ（果梗を除き、果皮及び種子を含む。）	びわ	3	0.01	0.1	0
もも（果皮及び種子を含む。）	もも	1	1	13.6	3
すもも（ブルーンを含む。）	ブルーン	0.05	0.05	0.3	0
うめ	うめ	0.2	0.2	0.3	0
おうとう（チェリーを含む。）	おうとう	0.05	0.05	0.1	0
いちご	いちご	0.05	0.05	0.2	0
ブルーベリー	ブルーベリー	4	○ 1.8	2.6	1
ぶどう	ぶどう	0.05	0.05	0.7	0
かき	かき	0.3	0.3	4.3	1
キウイ（果皮を含む。）	キウイ	3	3	17.0	3
パイナップル	パイナップル	0.05	0.05	0.7	0
その他の果実	いちじく	0.05	0.05	0.4	0

フルアジナムの推定摂取量（短期）：国民全体(1歳以上)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI ($\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重/day)	ESTI/ARFD (%)
茶	緑茶類	6	○ 0.114	0.1	0

ESTI：短期推定摂取量 (Estimated Short-Term Intake)

ESTI/ARFD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用いて短期摂取量を推計した。

○を付していない食品については、基準値案の値を使用した。

みかんを除くかんきつ及びびわ（果梗を除き、果皮及び種子を含む）については、それぞれ、なつみかん及びびわの果肉の残留濃度から推定される基準値に相当する値を使用した。

茶については、基準値（6 ppm）及び加工係数（0.019）を用いて浸出液の基準値相当値（0.114）を推定し、短期摂取量を推計した。

フルアジナムの推定摂取量（短期）：幼小児(1～6歳)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI ($\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重 /day)	ESTI/ARfD (%)
小麦	小麦	0.05	○ 0.01	0.0	0
らっかせい	らっかせい	0.05	○ 0.01	0.0	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.1	0.1	2.3	0
かんしょ	かんしょ	0.03	○ 0.02	0.5	0
やまいも(長いもをいう。)	やまいも	0.05	0.05	0.7	0
だいこん類(ラディッシュを含む。)	だいこんの根	0.05	0.05	1.1	0
はくさい	はくさい	0.05	0.05	0.8	0
キャベツ	キャベツ	0.05	0.05	0.8	0
こまつな	こまつな	0.05	0.05	0.4	0
ブロッコリー	ブロッコリー	0.1	0.1	1.4	0
ごぼう	ごぼう	0.2	○ 0.06	0.4	0
レタス(サラダ菜及びちしゃを含む。)	レタス類	0.05	0.05	0.5	0
たまねぎ	たまねぎ	0.2	○ 0.08	1.4	0
ねぎ(リーキを含む。)	ねぎ	0.05	0.05	0.3	0
にら	にら	0.05	0.05	0.1	0
にんじん	にんじん	0.3	0.3	3.1	1
その他の野菜(ずいき及びれんこんを除く。)	もやし	5	5	21.0	4
みかん(外果皮を含む。)	みかん	2	2	54.8	10
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	オレンジ	5	0.7	18.9	4
	オレンジ果汁	5	○ 1.525	27.2	5
りんご	りんご	0.2	0.2	6.4	1
	りんご果汁	0.2	○ 0.035	1.2	0
日本なし	日本なし	0.2	0.2	5.8	1
もも(果皮及び種子を含む。)	もも	1	1	42.4	8
うめ	うめ	0.2	0.2	0.7	0
いちご	いちご	0.05	0.05	0.5	0
ぶどう	ぶどう	0.05	0.05	1.5	0
かき	かき	0.3	0.3	6.3	1
パイナップル	パイナップル	0.05	0.05	1.6	0
茶	緑茶類	6	○ 0.114	0.1	0

ESTI：短期推定摂取量 (Estimated Short-Term Intake)

ESTI/ARfD(%)の値は、有効数字1桁(値が100を超える場合は有効数字2桁)とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度(HR)又は中央値(STMR)を用いて短期摂取量を推計した。

○を付していない食品については、基準値案の値を使用した。

みかんを除くかんきつについては、なつみかんの果肉の残留濃度から推定される基準値に相当する値を使用した。

茶については、基準値(6 ppm)及び加工係数(0.019)を用いて浸出液の基準値相当値(0.114)を推定し、短期摂取量を推計した。

フルアジナムの推定摂取量（短期）：妊婦又は妊娠している可能性のある女性（14～50歳）

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI ($\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重 /day)	ESTI/ARfD (%)
小麦	小麦	0.05	○ 0.01	0.0	0
小豆類	いんげん	0.1	○ 0.015	0.0	0
らっかせい	らっかせい	0.05	○ 0.01	0.0	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.1	0.1	0.9	5
かんしょ	かんしょ	0.03	○ 0.02	0.2	1
やまいも（長いも）	やまいも	0.05	0.05	0.4	2
だいこん類（根）	だいこんの根	0.05	0.05	0.5	3
だいこん類（葉）	だいこんの葉	0.1	0.1	0.8	4
かぶ類（根）	かぶの根	0.05	0.05	0.4	2
かぶ類（葉）	かぶの葉	0.05	0.05	0.1	1
はくさい	はくさい	0.05	0.05	0.6	3
キャベツ	キャベツ	0.05	0.05	0.5	3
こまつな	こまつな	0.05	0.05	0.2	1
きょうな	きょうな	0.05	0.05	0.2	1
チンゲンサイ	チンゲンサイ	0.05	0.05	0.4	2
カリフラワー	カリフラワー	0.05	0.05	0.4	2
ブロッコリー	ブロッコリー	0.1	0.1	0.6	3
その他のあぶらな科野菜	たかな	0.05	0.05	0.4	2
	菜花	0.05	0.05	0.1	1
ごぼう	ごぼう	0.2	○ 0.06	0.3	2
レタス	レタス類	0.05	0.05	0.3	2
たまねぎ	たまねぎ	0.2	○ 0.08	0.6	3
ねぎ	ねぎ	0.05	0.05	0.2	1
にら	にら	0.05	0.05	0.0	0
アスパラガス	アスパラガス	0.05	0.05	0.1	1
その他のゆり科野菜	にんにくの芽	5	5	8.8	40
	らっきょう	5	5	6.4	30
にんじん	にんじん	0.3	0.3	1.4	7
	にんじんジュース	0.3	○ 0.08	0.5	3
その他のなす科野菜	とうがらし（生）	0.3	0.3	0.5	3
	ししとう	0.3	0.3	0.4	2
その他の野菜（ずいき及びれんこんを除く。）	もやし	5	5	11.2	60
	そら豆（生）	5	5	14.7	70
みかん（外果皮を含む。）	みかん	2	2	16.5	80
なつみかんの果実全体	なつみかん	5	0.7	8.7	40
レモン	レモン	5	0.7	1.5	8
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	オレンジ	5	0.7	6.0	30
	オレンジ果汁	5	○ 1.525	11.1	60
グレープフルーツ	グレープフルーツ	5	0.7	11.3	60
	きんかん	5	0.7	1.7	9
その他のかんきつ類果実	ぼんかん	5	0.7	7.4	40
	ゆず	5	0.7	1.0	5
	すだち	5	0.7	1.1	6
りんご	りんご	0.2	0.2	2.7	10
	りんご果汁	0.2	○ 0.035	0.4	2
日本なし	日本なし	0.2	0.2	2.9	10
西洋なし	西洋なし	0.2	0.2	2.8	10
びわ（果梗を除き、果皮及び種子を含む。）	びわ	3	0.01	0.1	1
もも（果皮及び種子を含む。）	もも	1	1	12.8	60
すもも	ブルーベリー	0.05	0.05	0.3	2
うめ	うめ	0.2	0.2	0.3	2
おうとう	おうとう	0.05	0.05	0.1	1
いちご	いちご	0.05	0.05	0.2	1
ブルーベリー	ブルーベリー	4	○ 1.8	2.6	10
ぶどう	ぶどう	0.05	0.05	0.7	4
かき	かき	0.3	0.3	3.8	20
キウイ（果皮を含む。）	キウイ	3	3	18.2	90
パイナップル	パイナップル	0.05	0.05	0.7	4
その他の果実	いちじく	0.05	0.05	0.4	2

フルアジナムの推定摂取量（短期）：妊婦又は妊娠している可能性のある女性（14～50歳）

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI ($\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重 /day)	ESTI/ARFD (%)
茶	緑茶類	6	○ 0.114	0.1	1

ESTI：短期推定摂取量 (Estimated Short-Term Intake)

ESTI/ARFD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用いて短期摂取量を推計した。

○を付していない食品については、基準値案の値を使用した。

みかんを除くかんきつ及びびわ（果梗を除き、果皮及び種子を含む）については、それぞれ、なつみかん及びびわの果肉の残留濃度から推定される基準値に相当する値を使用した。

茶については、基準値（6 ppm）及び加工係数（0.019）を用いて浸出液の基準値相当値（0.114）を推定し、短期摂取量を推計した。

(参考)

これまでの経緯

平成 2年	4月10日	初回農薬登録
平成15年	7月 1日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成15年	9月18日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知（経過措置）
平成17年	11月29日	残留農薬基準告示
平成18年	7月 4日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：食用ゆり、にんじん等）
平成18年	9月 4日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成19年	2月23日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成20年	9月26日	インポートトレランス申請（とうがらし）
平成25年	11月11日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成26年	11月27日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成27年	5月19日	残留農薬基準告示
平成29年	12月14日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：たまねぎ、ごぼう等）
平成30年	1月 9日	インポートトレランス申請（ブルーベリー、クランベリー等）
平成30年	10月10日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成31年	2月 5日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
令和 元年	5月17日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
令和 2年	2月25日	残留農薬基準告示
令和 3年	4月20日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：かんしょ）
令和 3年	6月30日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
令和 3年	8月31日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
令和 3年	10月18日	薬事・食品衛生審議会へ諮問

● 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

[委員]

- 穂山 浩 学校法人星薬科大学薬学部薬品分析化学研究室教授
石井 里枝 埼玉県衛生研究所副所長（兼）食品微生物検査室長
井之上 浩一 学校法人立命館立命館大学薬学部薬学科臨床分析化学研究室教授
大山 和俊 一般財団法人残留農薬研究所化学部長
折戸 謙介 学校法人麻布獣医学園理事（兼）麻布大学獣医学部生理学教授
加藤 くみ子 学校法人北里研究所北里大学薬学部分析化学教室教授
魏 民 公立大学法人大阪大阪市立大学大学院医学研究科
環境リスク評価学准教授
佐藤 洋 国立大学法人岩手大学農学部共同獣医学科比較薬理毒性学研究室教授
佐野 元彦 国立大学法人東京海洋大学学術研究院海洋生物資源学部門教授
須恵 雅之 学校法人東京農業大学応用生物科学部農芸化学科
生物有機化学研究室准教授
瀧本 秀美 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所
国立健康・栄養研究所栄養疫学・食育研究部長
中島 美紀 国立大学法人金沢大学ナノ生命科学研究所
薬物代謝安全性学研究室教授
永山 敏廣 学校法人明治薬科大学薬学部特任教授
根本 了 国立医薬品食品衛生研究所食品部第一室長
野田 隆志 一般社団法人日本植物防疫協会信頼性保証室付技術顧問
二村 睦子 日本生活協同組合連合会常務理事

(○：部会長)

答申（案）

フルアジナム

今回基準値を設定するフルアジナムとは、農産物にあつてはフルアジナムをいい、畜産物にあつては、筋肉及び脂肪については、フルアジナム、代謝物D【4-クロロ-6-(3-クロロ-5-トリフルオロメチル-2-ピリジルアミノ)- α , α , α -トリフルオロ-5-ニトロ-*m*-トルイジン】及び代謝物E【4-クロロ-2-(3-クロロ-5-トリフルオロメチル-2-ピリジルアミノ)-5-トリフルオロメチル-*m*-フェニレンジアミン】を、その他の組織及び乳については、フルアジナム、代謝物D及び代謝物E並びにこれらの代謝物の抱合体をフルアジナムに換算したものの和をいう。

食品名	残留基準値 ppm
小麦	0.05
小豆類 ^{注1)}	0.1
らっかせい	0.05
ばれいしょ	0.1
かんしょ	0.03
やまいも（長いもをいう。）	0.05
てんさい	0.5
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	0.05
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	0.1
かぶ類の根	0.05
かぶ類の葉	0.05
はくさい	0.05
キャベツ	0.05
芽キャベツ	0.05
こまつな	0.05
きょうな	0.05
チンゲンサイ	0.05
カリフラワー	0.05
ブロッコリー	0.1
その他のあぶらな科野菜 ^{注2)}	0.05
ごぼう	0.2
レタス（サラダ菜及びちしやを含む。）	0.05
たまねぎ	0.2
ねぎ（リーキを含む。）	0.05
にら	0.05
アスパラガス	0.05
その他のゆり科野菜 ^{注3)}	5
にんじん	0.3
その他のなす科野菜 ^{注4)}	0.3
その他の野菜 ^{注5)} （ずいき及びれんこんを除く。）	5
みかん（外果皮を含む。）	2
なつみかんの果実全体	5

食品名	残留基準値 ppm
レモン	5
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	5
グレープフルーツ	5
ライム	5
その他のかんきつ類果実 ^{注6)}	5
りんご	0.2
日本なし	0.2
西洋なし	0.2
びわ（果梗を除き、果皮及び種子を含む。）	3
もも（果皮及び種子を含む。）	1
ネクタリン	0.05
あんず（アプリコットを含む。）	0.05
すもも（プルーンを含む。）	0.05
うめ	0.2
おうとう（チェリーを含む。）	0.05
いちご	0.05
ブルーベリー	4
クランベリー	4
ハuckleベリー	4
その他のベリー類果実 ^{注7)}	4
ぶどう	0.05
かき	0.3
キウイー（果皮を含む。）	3
パイナップル	0.05
その他の果実 ^{注8)}	0.05
茶	6
その他のスパイス ^{注9)}	10
牛の筋肉	0.01
牛の脂肪	0.02
牛の肝臓	0.01
牛の腎臓	0.01
牛の食用部分 ^{注10)}	0.01
乳	0.01

注1) 「小豆類」には、いんげん、ささげ、サルタニ豆、サルタピア豆、バター豆、ペギア豆、ホワイ
ト豆、ライマ豆及びレンズ豆を含む。

注2) 「その他のあぶらな科野菜」とは、あぶらな科野菜のうち、だいこん類（ラディッシュを含
む。）の根、だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉、かぶ類の根、かぶ類の葉、西洋わさび、ク
レソン、はくさい、キャベツ、芽キャベツ、ケール、こまつな、きょうな、チンゲンサイ、カリフラ
ワー、ブロッコリー及びハーブ以外のものをいう。

注3) 「その他のゆり科野菜」とは、ゆり科野菜のうち、たまねぎ、ねぎ（リーキを含む。）、にんに
く、にら、アスパラガス、わけぎ及びハーブ以外のものをいう。

注4) 「その他のなす科野菜」とは、なす科野菜のうち、トマト、ピーマン及びなす以外のものをい
う。

注5) 「その他の野菜」とは、野菜のうち、いも類、てんさい、さとうきび、あぶらな科野菜、きく科
野菜、ゆり科野菜、せり科野菜、なす科野菜、うり科野菜、ほうれんそう、たけのこ、オクラ、しょ
うが、未成熟えんどう、未成熟いんげん、えだまめ、きのこ類、スパイス及びハーブ以外のものをい
う。

注6) 「その他のかんきつ類果実」とは、かんきつ類果実のうち、みかん、なつみかん、なつみかんの
外果皮、なつみかんの果実全体、レモン、オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）、グレープフル
ーツ、ライム及びスパイス以外のものをいう。

注7) 「その他のベリー類果実」とは、ベリー類果実のうち、いちご、ラズベリー、ブラックベリー、
ブルーベリー、クランベリー及びハックルベリー以外のものをいう。

注8) 「その他の果実」とは、果実のうち、かんきつ類果実、りんご、日本なし、西洋なし、マルメ
ロ、びわ、もも、ネクタリン、あんず（アプリコットを含む。）、すもも（ブルーンを含む。）、う
め、おうとう（チェリーを含む。）、ベリー類果実、ぶどう、かき、バナナ、キウイー、パパイヤ、
アボカド、パイナップル、グアバ、マンゴー、パッションフルーツ、なつめやし及びスパイス以外の
ものをいう。

注9) 「その他のスパイス」とは、スパイスのうち、西洋わさび、わさびの根茎、にんにく、とうがら
し、パプリカ、しょうが、レモンの果皮、オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）の果皮、ゆずの果
皮及びごまの種子以外のものをいう。

注10) 「食用部分」とは、食用に供される部分のうち、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓以外の部分をい
う。